

瀬戸内しまなみ海道・ 国際サイクリング大会

～瀬戸内しまなみ海道をサイクリストの聖地へ～

愛媛県



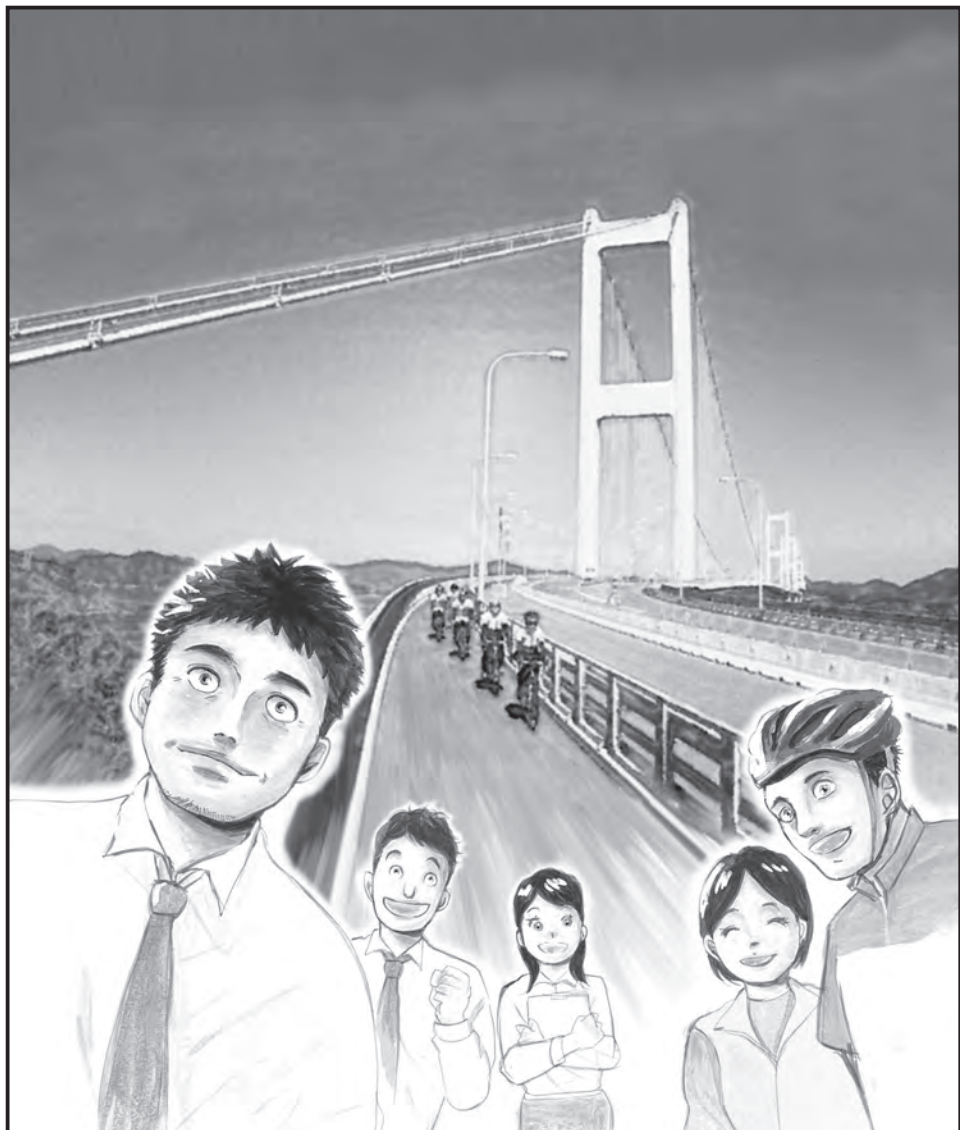
作画 二宮法子

(専門学校 松山ビジネスカレッジ クリエイティブ校)

企画・監修 スポーツ庁 寄贈 スズキ株式会社 日本生命保険相互会社

瀬戸内しまなみ海道・ 国際サイクリング大会

～瀬戸内しまなみ海道をサイクリストの聖地へ～
愛媛県



作画 二宮法子

(専門学校 松山ビジネスカレッジ クリエイティブ校)

本冊子の制作協力にあたって

今回スズキは「スポーツによる地域活性化」まんが事例集の制作に協力させていただくことになりました。

地方都市に本社を置く企業として、スポーツによる地域活性化に少しでもお役に立てることを大変うれしく思っております。

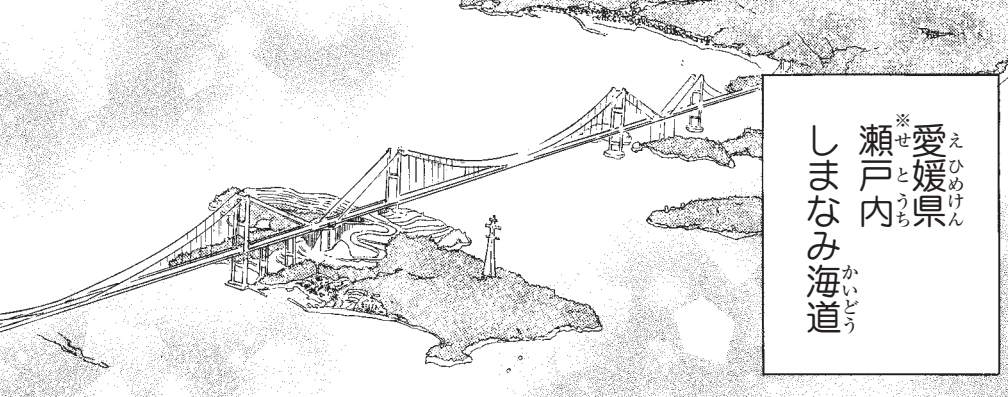
スズキの得意とする「軽自動車」を使った「軽トラ市」をご存知ですか？

地域の生産者や商店街が一体となり、「軽トラック」1台1台をお店にし、“活気ある市場”をつくるというこの取り組み。「軽トラ市」には、この本で紹介される「スポーツ」と同じように、地域に元気を生む力があります。

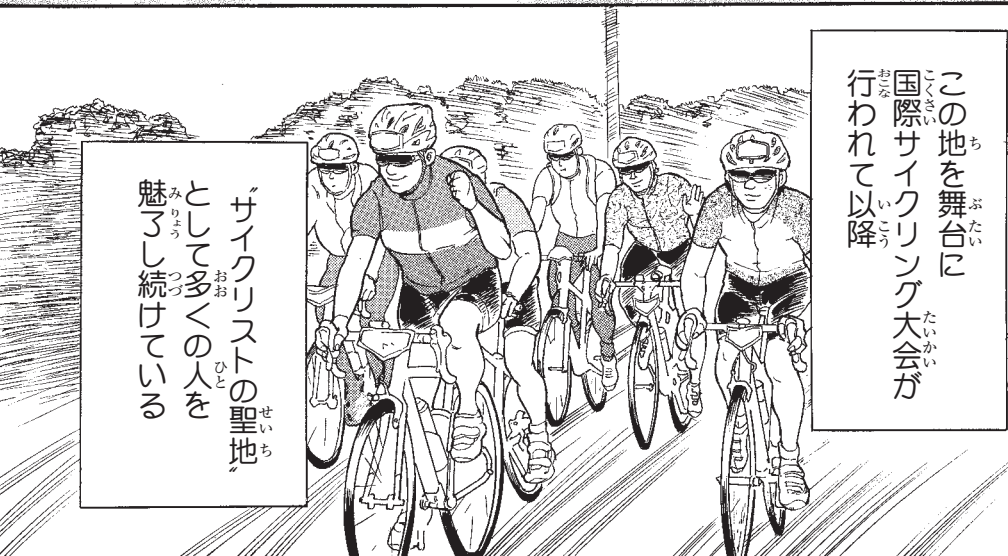
スズキはこれからも「軽トラ市」や「スポーツ」を通して地域を応援していきますので、本冊子をお読みの皆さんも様々な活動を通じて、地域活性化に取り組んでいただければ幸いです。



 **SUZUKI**

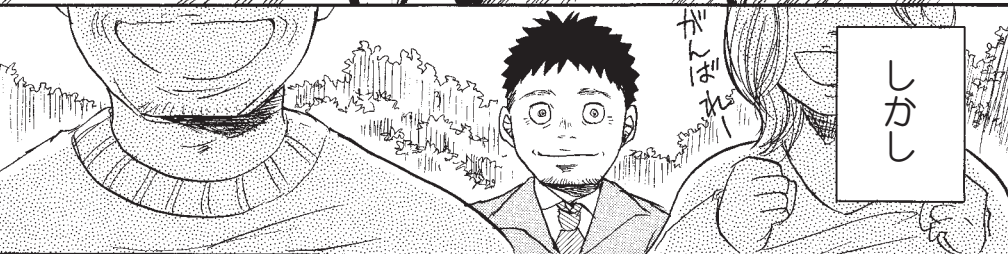


愛媛県
瀬戸内
しまなみ海道



サイクリストの聖地
ここに多くの人を
魅了し続けている

この地を舞台に
国際サイクリング大会が
行われて以降



しかし

大会開催に
至るまでには
多くの困難が
あった

※瀬戸内しまなみ海道は西瀬戸自動車道の愛称で、広島県尾道市と愛媛県今治市を結ぶ全長約60kmの高速道路。

とうじょうじんぶつしょうかい
登場人物紹介



かね こういち
金子浩一

愛媛県庁職員。国際サイクリング大会の
開催を担当することになる。



なかむらとらきひろ
中村時広

愛媛県知事。



りゅうかいちょう
劉会長

国際的自転車メーカー
「ジャイアント」の会長。

もくじ
目次

まんが 瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会
～瀬戸内しまなみ海道をサイクリストの聖地へ～…………… 1

もっと知ろう 瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会…………… 51

1. 大会の魅力…………… 52

2. 大会の目的…………… 52

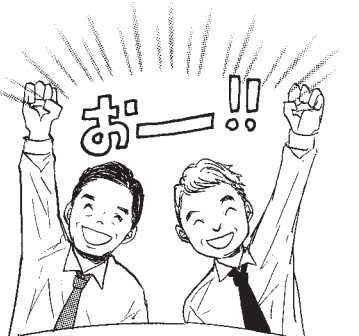
3. 開催に至る経緯…………… 52

4. 大会の歴史…………… 53

5. 瀬戸内しまなみ海道のPR効果…………… 56

6. 自転車新文化推進のための主な施策…………… 57

2011年10月
広島・愛媛
両県知事の
合意により



国際サイクリング
大会の開催を
めざすこと
なった

ひろしま えひめこうりゅうかいぎ
広島・愛媛交流会議

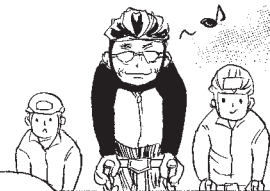
そんな中
同年11月
愛媛県知事が
台湾に出張



是脚踏車
新文化

劉会長が
しまなみ海道を
訪問して
サイクリングを
楽しんだ際

そこで世界的
自転車メーカー
『ジャイアント』の
劉会長と出会い



その絶景と
爽快感に感動

この出来事が
国際サイクリング
大会開催への大きな
後押しとなった

素晴らしい！
ここは
パラダイスだ!!



しまなみ海道を
サイクリストの
聖地へ……

そんな途方もない
目標を掲げて……

愛媛県庁



しまなみ海道を
通行止めにして
サイクリング大会!!?

そんなこと
できんのかよ!?

なんだぞりゃ

どーいう
こと??

しまなみ海道を止めるなんて聞いたことないよ！
そんな無茶な

そもそも国内最大級ってどんな規模だよ！

1万人
※当初の予定

とにかくやるしかない
非常に大変なことですが...

やっつてくれますか

金子さん

この大仕事の責任者を選ばれたのが
東予地方局 今治支局 総務県民室長 金子浩一

ハイ

これまで様々な課題に対して手腕をふるってきた彼であったが

経験したことのないとてつもなく大きな困難に立ち向かうこととなる...

さてと...

はさっ

課題は山積みだ...

これまでも様々な関係機関と話し合いを重ねてきたんですけど...

しまなみ海道をそんなに簡単に止めたりはできませんよ

あ、もちろん

地元の人々にとっては生活に必要な道路！代わりの交通手段も用意していただかないと

それよりも地元の人々の理解を得ることが大前提です！

そんなに長くは止められないですね

急患が出た時の対処はどうされます？安全面でも問題があります

それから駐車場や通行規制時間のことを考えると

とても1万人もの参加は難しいです...

そうだな...いきなり1万人は厳しいぞ

まずは小規模でリハーサル的なプレ大会を行うとして...

無理!!!

ムリでしょ!!

課題多過ぎ!

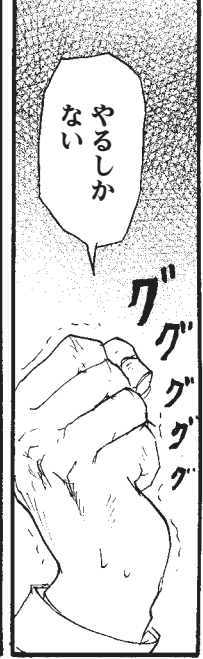
どうしたらいいんだ

よお~~~~っ

※本州四国連絡高速道路株式会社のこと。しまなみ海道を含む本州四国連絡高速道路を管理している。

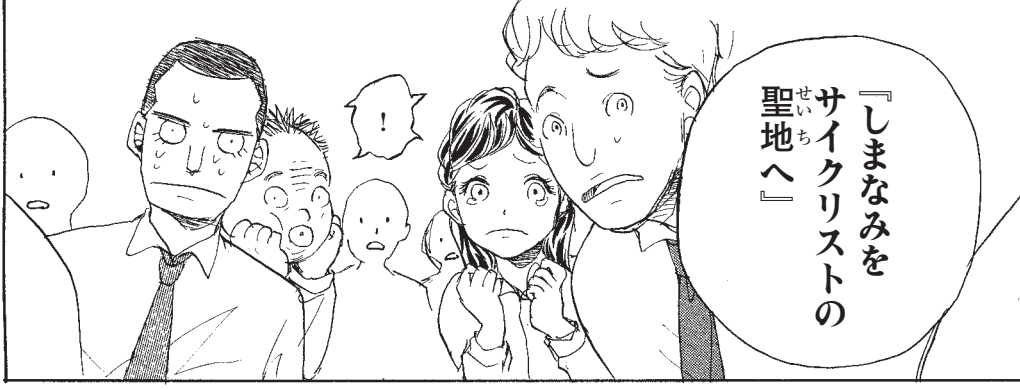


やれる！
しまなみを
世界に
ドーンと
広めるんだ！！

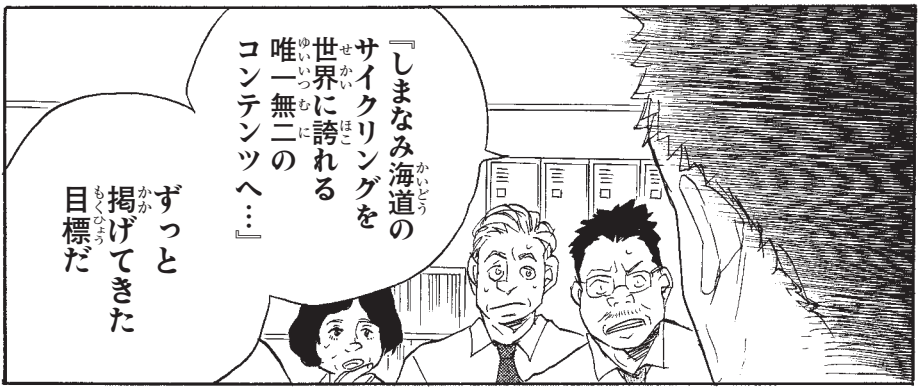


やるしか
ない

グググググ



「しまなみを
サイクリストの
聖地へ」

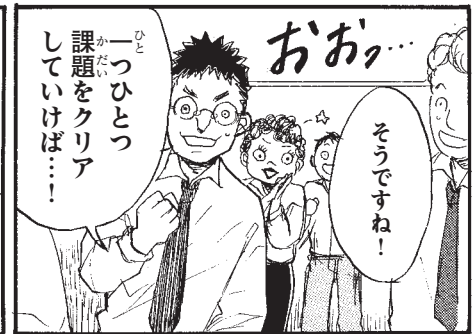


「しまなみ海道の
サイクリングを
世界に誇れる
唯一無二の
コンテンツへ…」

ずっと
掲げてきた
目標だ



でも忘れちゃ
ダメだよ
あくまで
目標は1万人
規模の大会だ
プレ大会で
それにつなげ
なければならん！



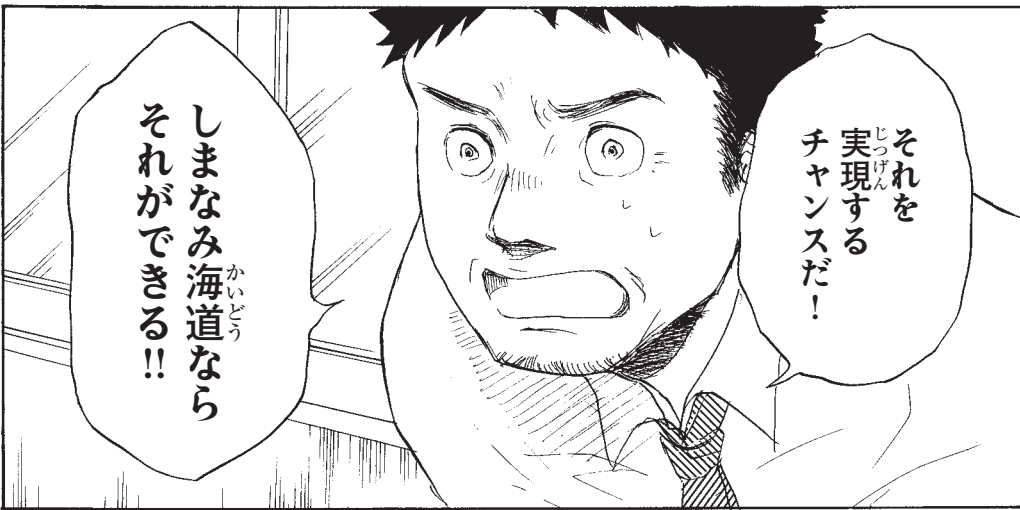
おお…
一つひとつ
課題をクリア
していけば…！

そうですね！



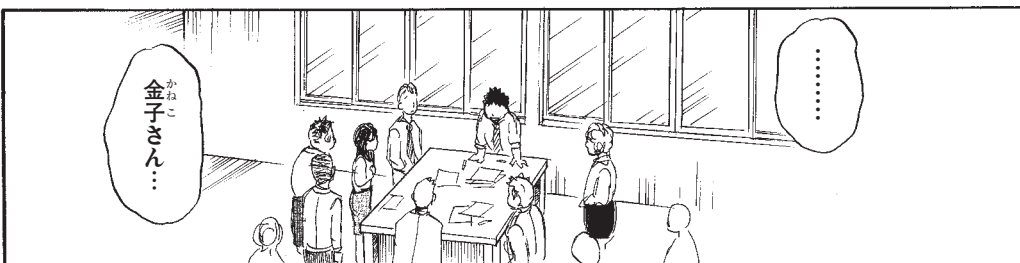
通行止め
できるのは
わずか3時間
!!!

とにかく
しまなみ海道を
使って実証して
みるしかない！！



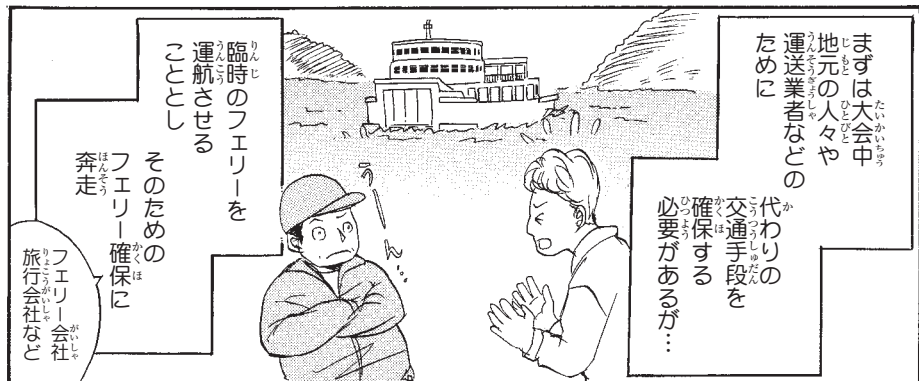
それを
実現する
チャンスだ！

しまなみ海道なら
それができる！！



金子さん…

……



まずは大会中
地元の人々や
運送業者などの
ために

かわりの
交通手段を
確保する
必要があるが…

臨時のフェリーを
運航させる
こと

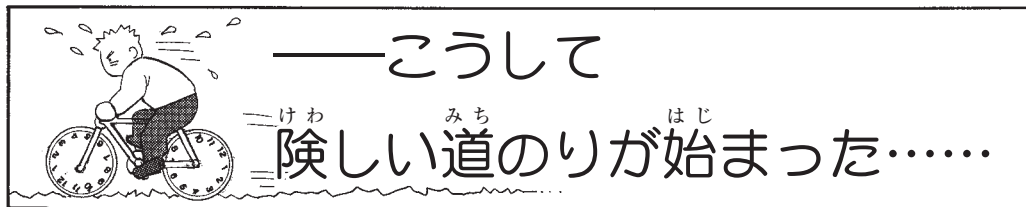
そのための
フェリー確保に
奔走

フェリー会社
旅行会社など



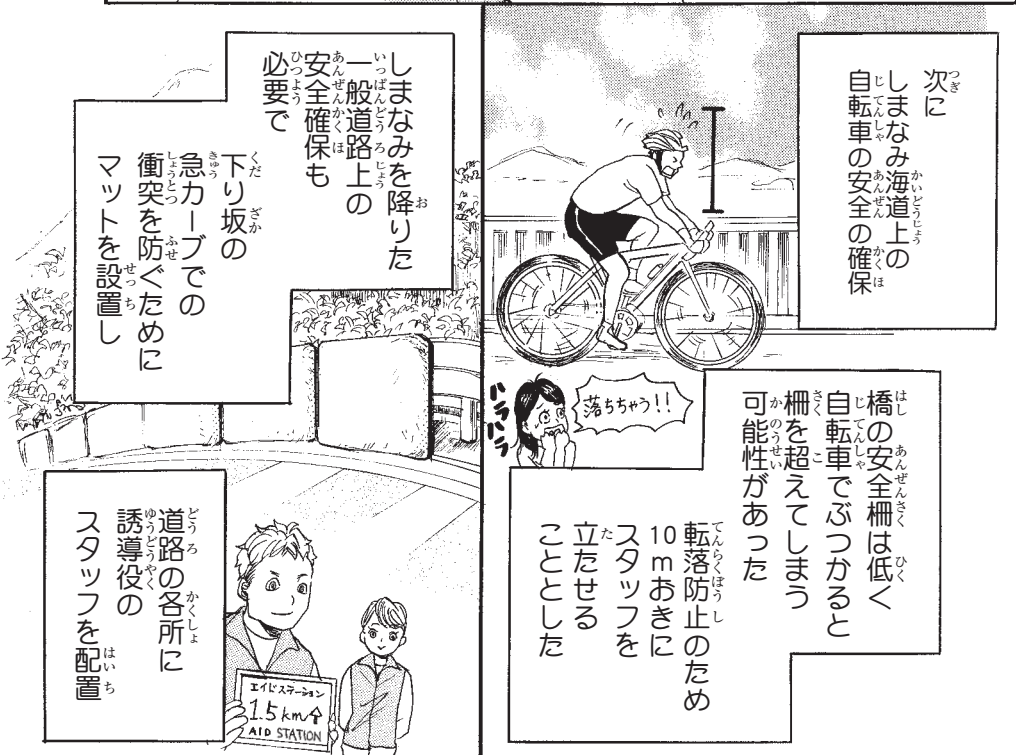
バカもーん！
弱音を
吐くんじゃ
ないっ

若さで
乗りきれ！



—こうして

険しい道のりが始まった……



次に
しまなみ海道上の
自転車の安全の確保

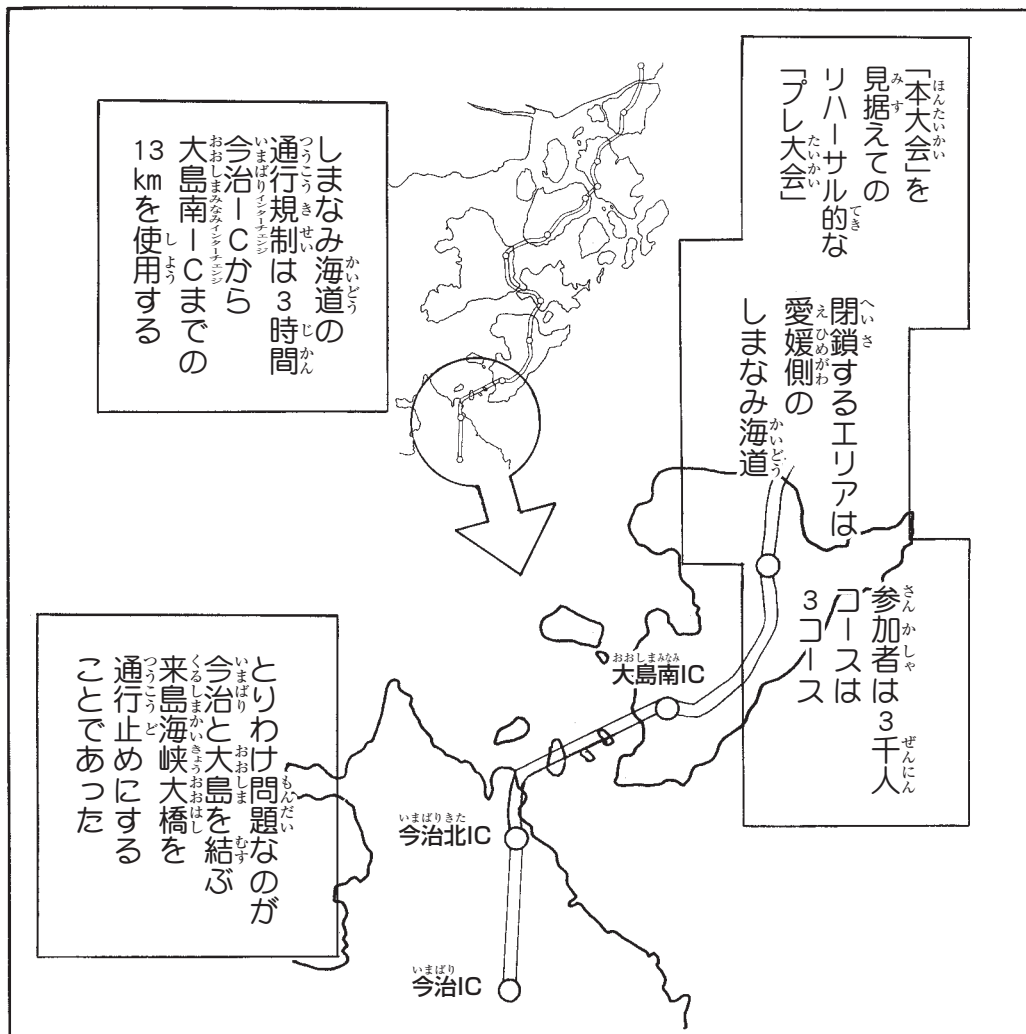
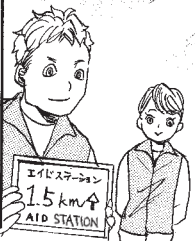
橋の安全柵は低く
自転車ではぶつかると
柵を超えてしまう
可能性があった

転落防止のため
10mおきに
スタッフを
立たせる
こととした

しまなみを降りた
一般道路上の
安全確保も
必要で

下り坂の
急カーブでの
衝突を防ぐために
マットを設置し

道路の各所に
誘導役の
スタッフを配置



「本大会」を
見据えての
リハーサル的な
プレ大会

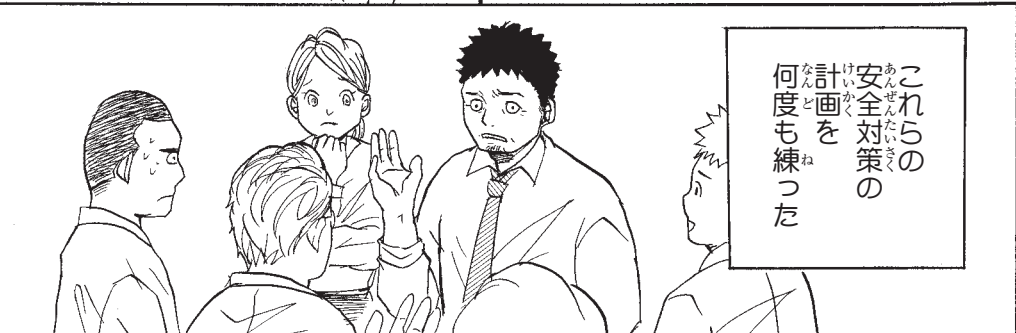
閉鎖するエリアは
愛媛側の
しまなみ海道

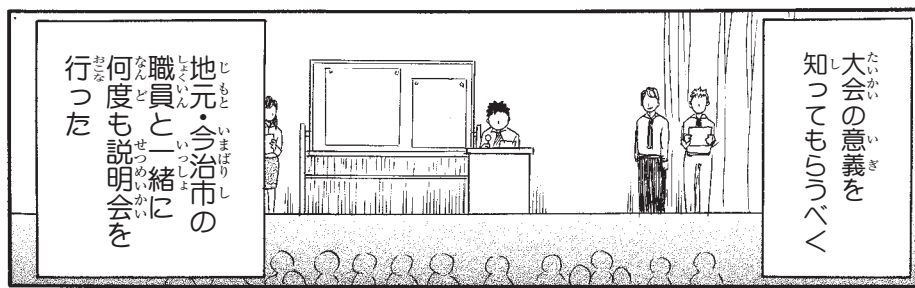
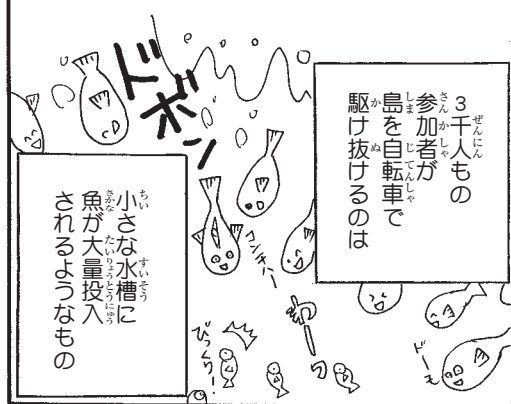
参加者は3千人
コースは
3コース

しまなみ海道の
通行規制は3時間
今治ICから
大島南ICまでの
13 kmを使用する

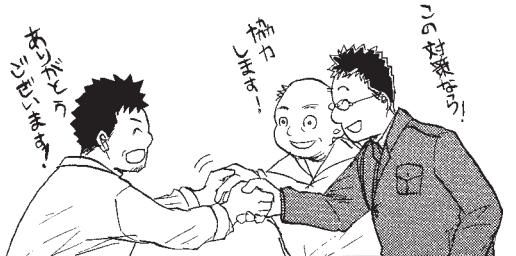
とりわけ問題なのが
今治と大島を結ぶ
来島海峡大橋を
通行止めにする
ことであつた

これらの
安全対策の
計画を
何度も練つた



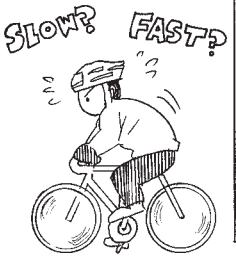


そして
本四高速・警察
とも合意し



協力が
得られる
ことになった

それらすべてを
3時間で
やりきらないと
いけない



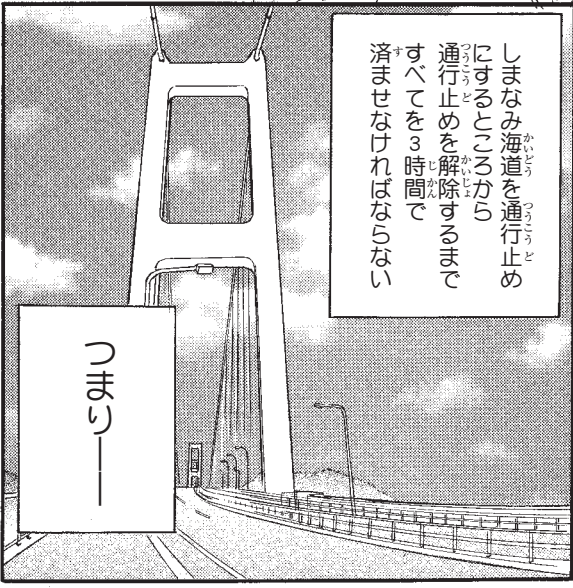
限られた時間内で
大量の資材と
スタッフを迅速に
移動させなければ
ならない

しかし
サイクリストは
各々のスピードで
走るため時間の
想定が難しい

しかし
最大の問題は

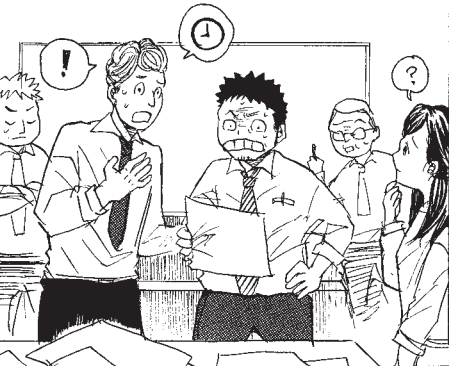


しまなみ海道を通行止め
にするところから
通行止めを解除するまで
すべてを3時間で
済ませなければならない



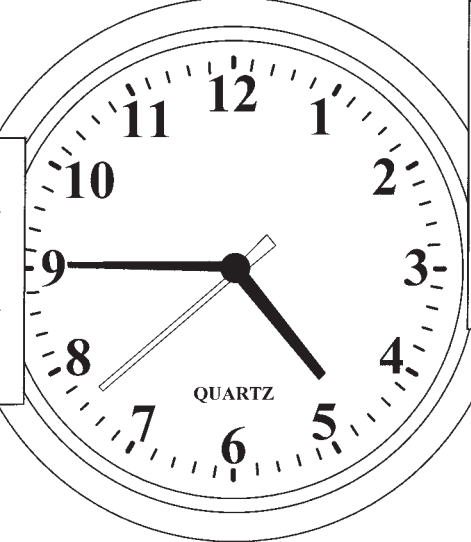
やはり
規制時間

分単位の
スケジュール管理が
必要となり



運営計画を
立てるには
かなりの労力が
かかった

実際に道路を使って
大会当日の動きを
シミュレーション



何度も何度も

緻密に計画を
練り直した

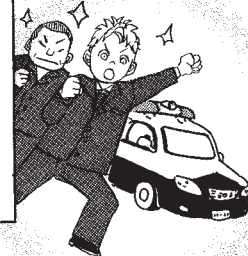
まずはしまなみ海道の
入口への進入を規制し
すべての車両が本線から
退出したことを確認



ただちにスタッフ
橋の上の設置に
取りかかる

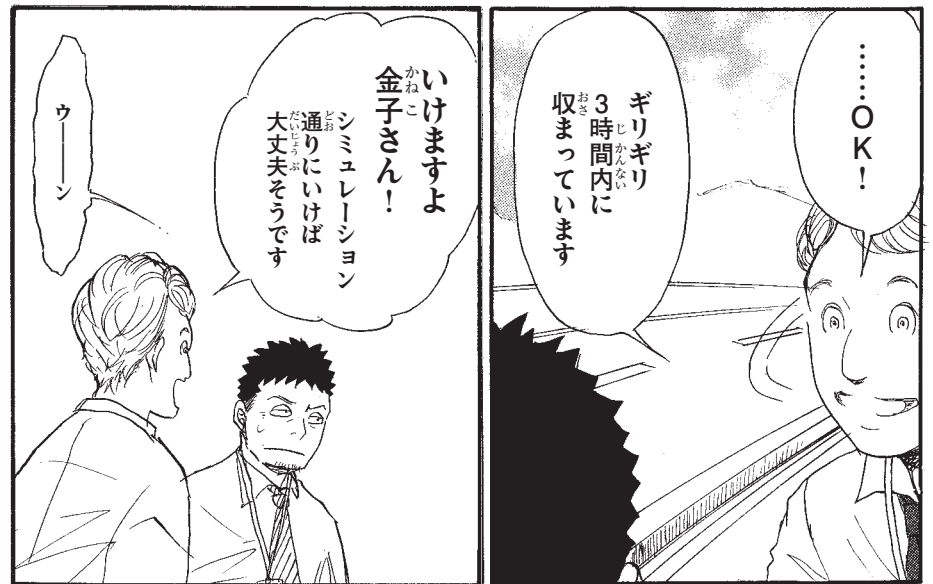
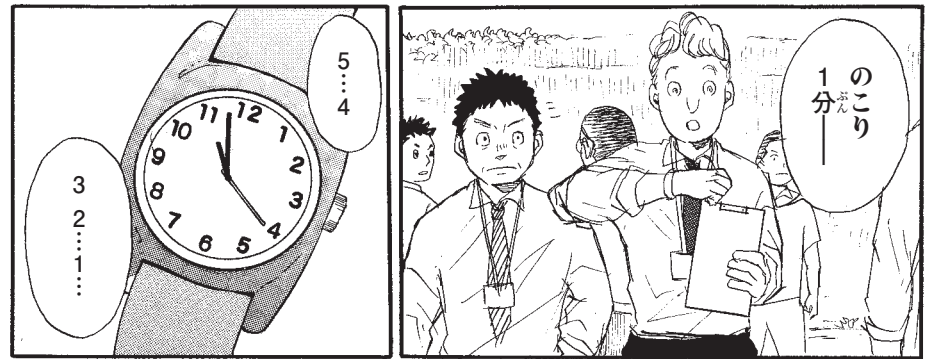
その後参加者が
すべてしまなみ海道を
通過した後
スタッフが設置物の
撤去作業を行い

設置物が残って
いないかパトカーが
確認
通行止めを解除



完了次第
大会スタート





プレ大会に向けて
それぞれのスタッフが
作業を進めていった

.....

そして：
2013年
10月19日
プレ大会前日

あめ
雨かあ…

※マラソンや自転車のロードレースでコースの途中に設けられた水分や食べ物の補給ができる施設。

はあ…
小雨だし
止むとは
思うが…
それが
まだ完了
しななくて
ええ！

フィニッシュ会場と
エイドステーションの
準備はどうなっ
てるんだよ？
おーい！
無線鳴って
るぞー！！

うーむ…
大丈夫ですよ！
やれることは
やってきました
ですから！！
あとは
全力を尽くす
だけです！

うん…

でも
なーんか…

嫌な予感が
するんだよなあ

…か

金子さん！
…あれー
もうそんな
時間かあ…？
そつ…
そつじやなくて
…外!!!

そと
外が
大変です!!
はちゅ
バツ

はちゅ
はちゅ



くそ!!
俺はなんて
バカなんだ!

まじでござ……!
ここまで土砂降りに
なるなんて
これっぽっちも
考えてなかった!



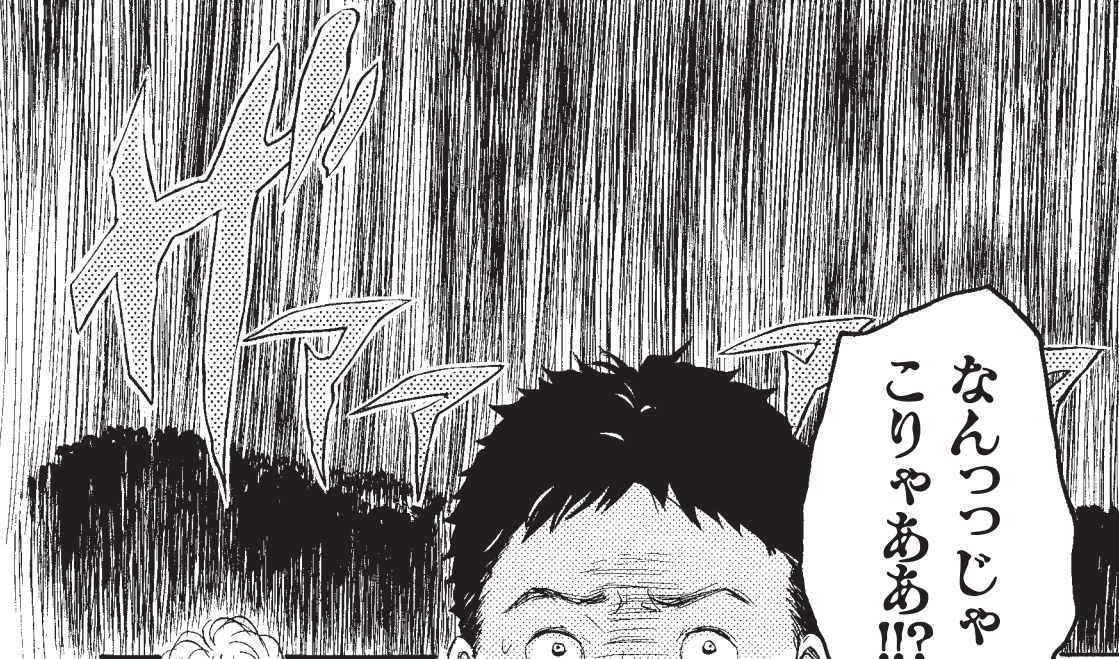
大変だあ!!



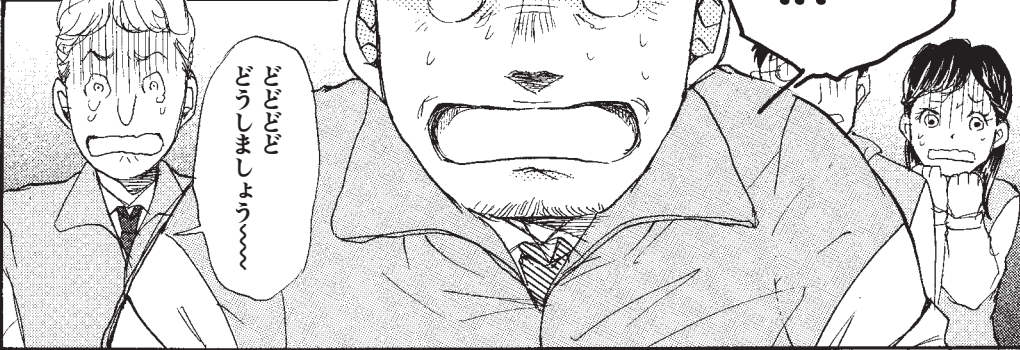
この雨で
フィニッシュ会場が……



なんだ!
どうした!!



なんつツツじや
こりゃあああ!!?



どうしてまじでござ……



とりあえず
それぞれの会場に
行って確認しろ!

スタート地点の
状況は
どうなってる!!

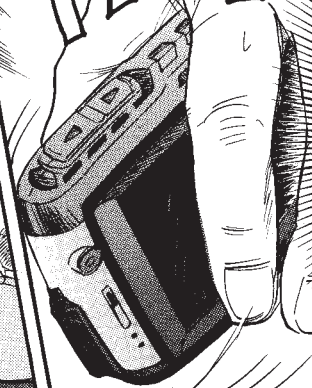
僕が
行って来ます!
カッパ貸して!

金子さん!
予報ではもっと
雨になるって……

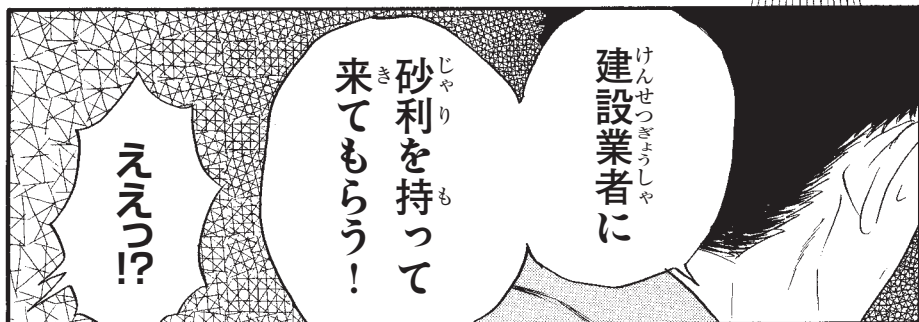


か…金子さん
何してるん
ですか？

カッ



『おもてなし』
なくしてこの大会は
成功しないんだ！



建設業者に

砂利を持って
来てもらう！

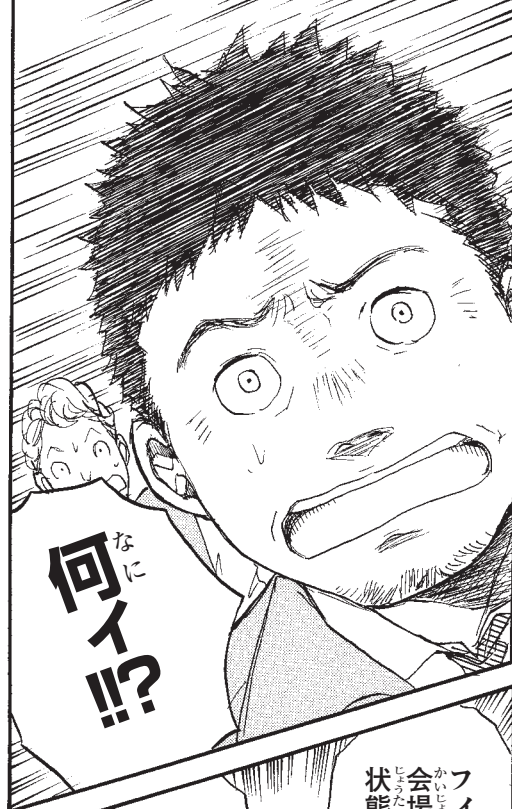
ええっ？



だ…
だ…

夜の11時
ですよ！

やれることは
やるんだ！



なに
何イ!!?



フィニッシュ
会場があんな
状態じゃあ…

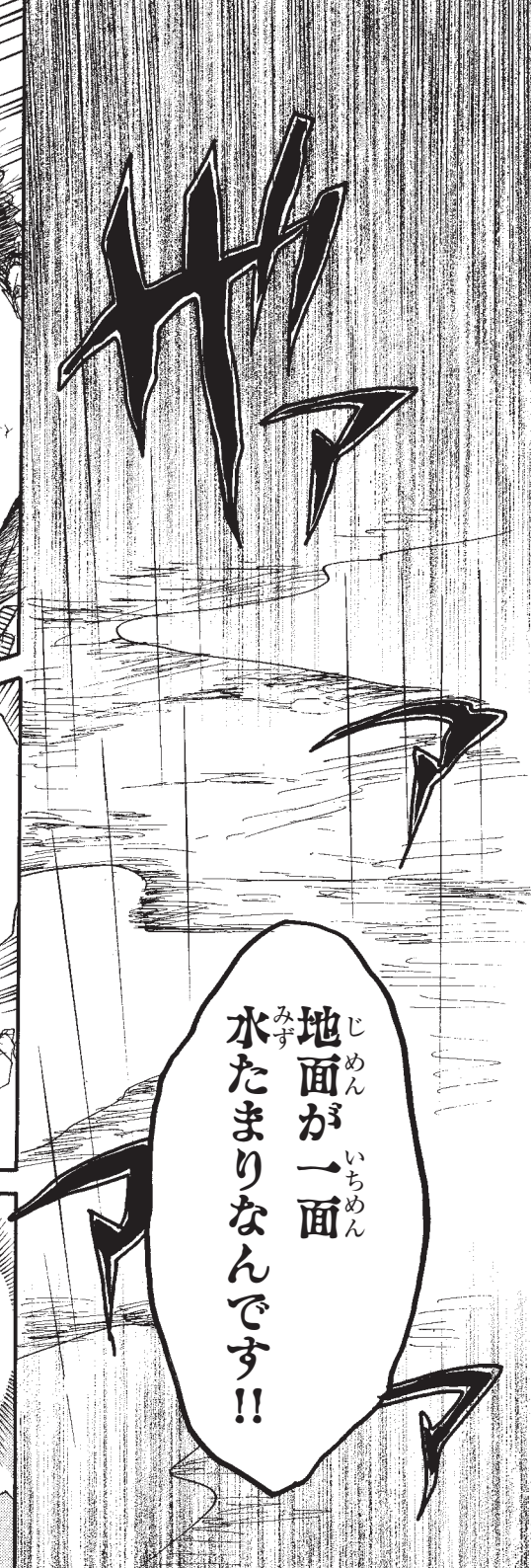
水を
かき出せば
……！

そんな時間
ないよ！



このままでは
『おもてなし』
できなくなる…

それじゃあ
意味がない



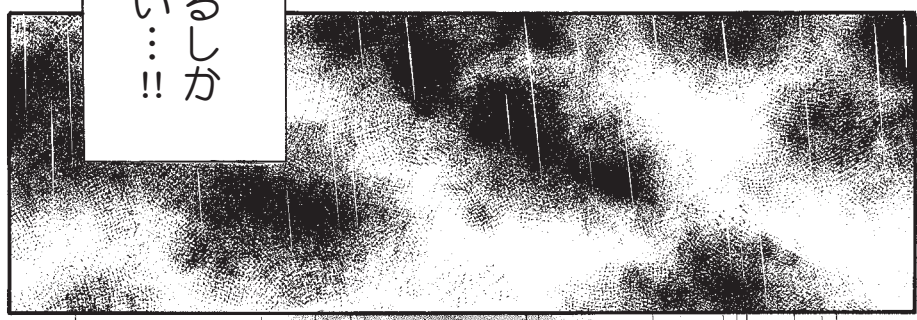
地面が一面
水たまりなんです!!



ゴッゴッ

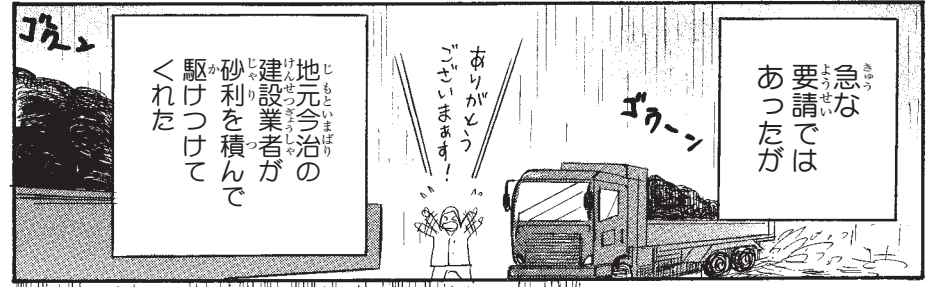
ザッ
アアア...

やるしか
ない...!!



いま
今すぐ!!
ちやうどしゅうごう

ありったけの
砂利を持って
来てくれ!!



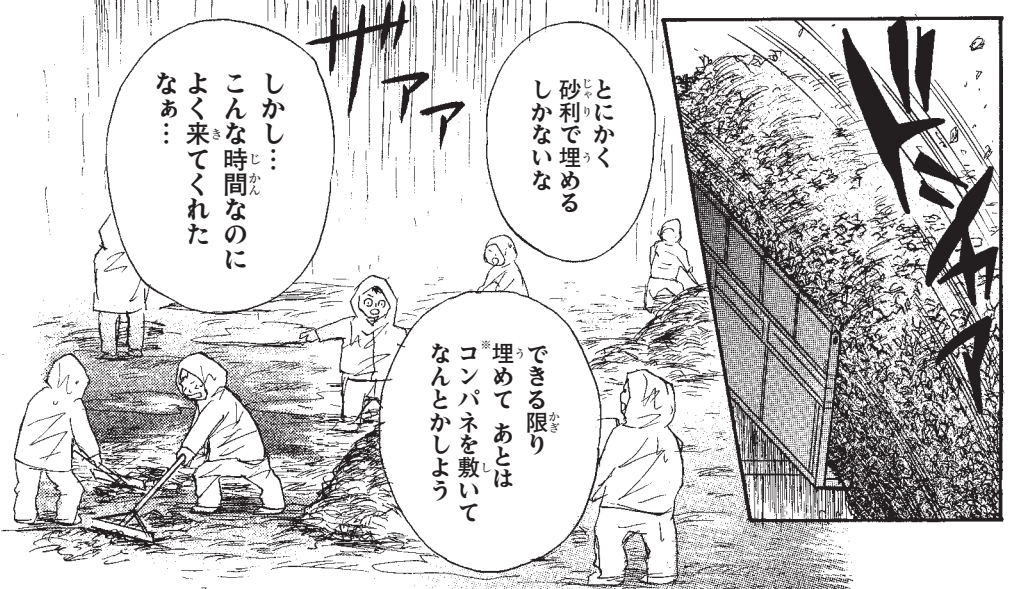
急な
要請では
あったが

地元今治の
建設業者が
砂利を積んで
駆けつけて
くれた

ありがと
ございませう!



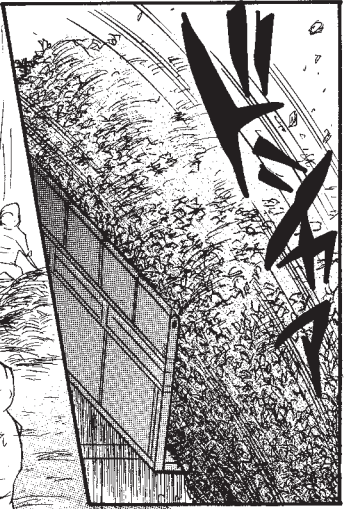
そっ...



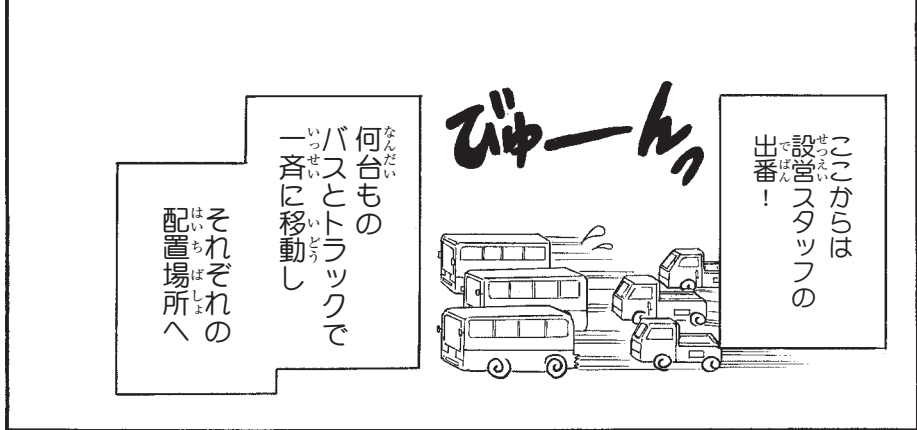
とにかく
砂利で埋める
しかないな

しかし...
こんな時間なのに
よく来てくれた
なあ...

できる限り
埋めてあとは
コンパネを敷いて
なんとかしよう



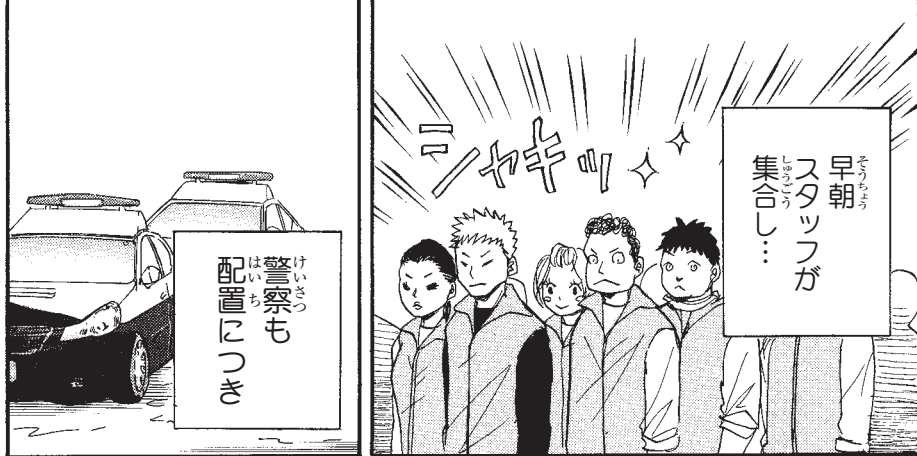
※コンクリートの型枠用としてつくられた合板。



ここからは
運営スタッフの
出発！

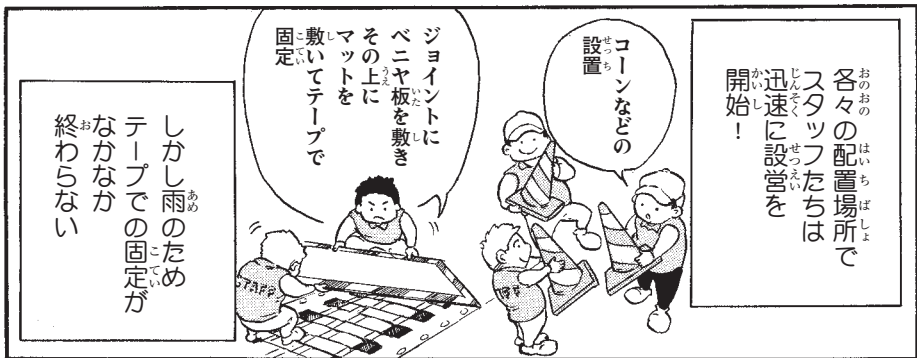
何台もの
バスとトラックで
一斉に移動し

それぞれの
配置場所へ



早朝
スタッフが
集合し！

警察も
配置につき

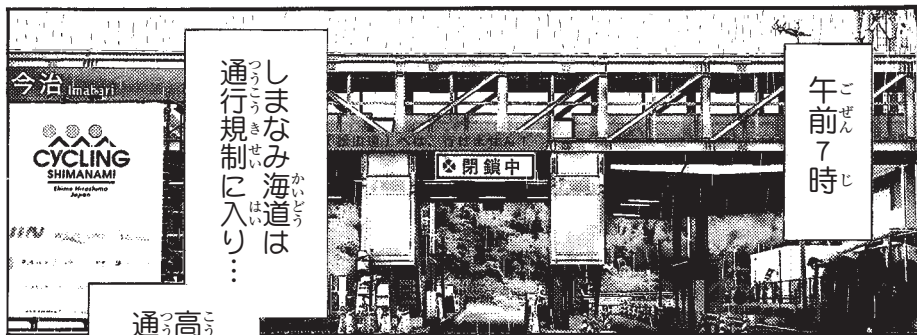


おのおの
配置場所
スタッフたちは
迅速に設置を
開始！

コーンなどの
設置

ジョイントに
ベニヤ板を敷き
その上に
マットを
敷いてテープで
固定

しかし雨のため
テープでの固定が
なかなか
終わらない



午前7時

しまなみ海道は
通行規制に入り

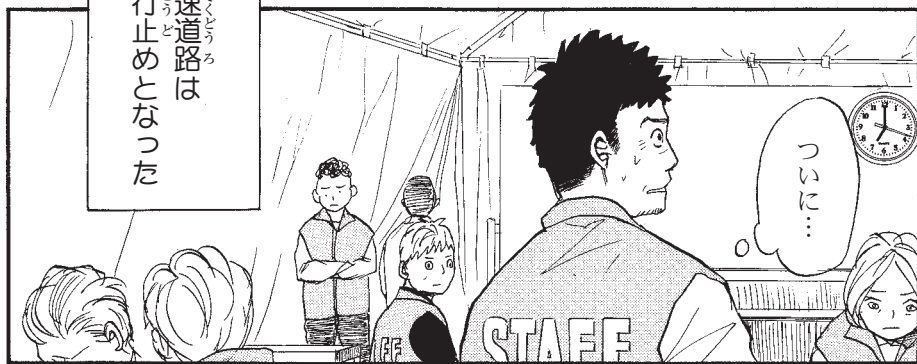
高速道路は
通行止めとなった



さらさら
雨の影響は
スタート地点
でも...

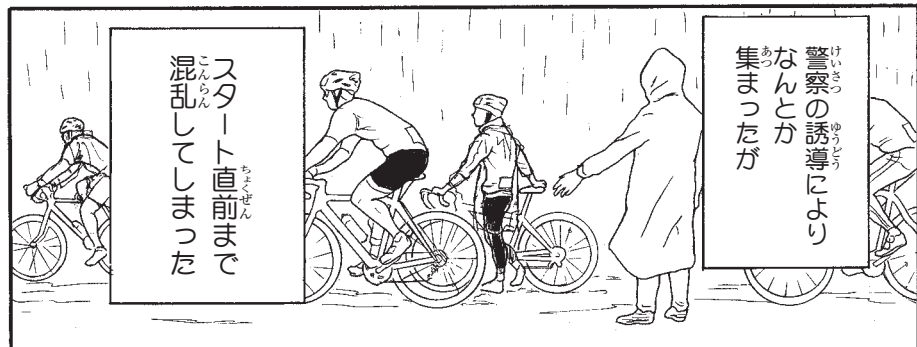
車が渋滞して
参加者が
そろつのに
時間がかり

集合予定時間が
大幅に遅れた



ここ...

STAFF



警察の誘導により
なんとか
集まったが

スタート直前まで
混乱してしまつた



それじゃあ
準備に
取りかかって
ください！

通行止め
完了！
よし！

ドキーン



いま準備が完了したそうです!!

やっ!!



スタート時間過ぎてるよ!!

設営班からの連絡はまだか!!

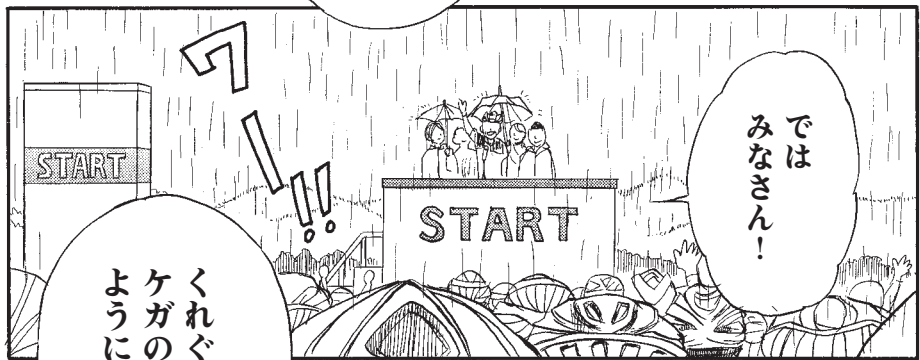


ハイッ

ok!

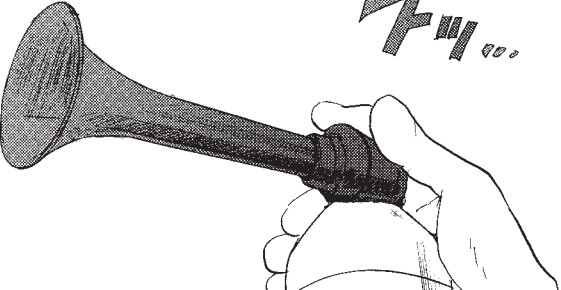
お待ちでした!!

愛媛県知事 中村時広にスタートの合図をお願いします!



ではみなさん!

くれぐれもケガのないように...

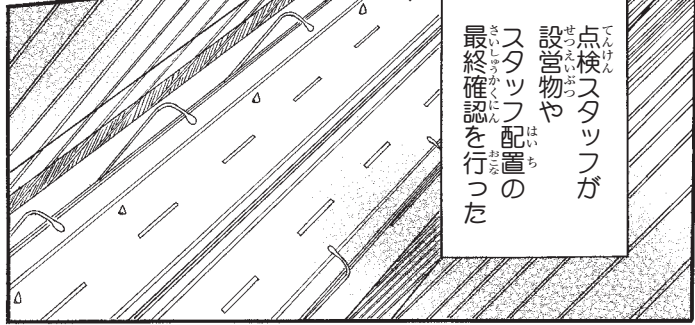


アッ...

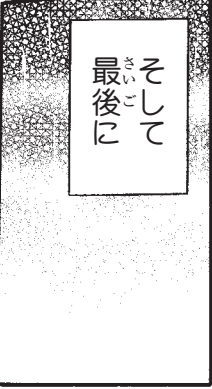


オイオイ! もうスタート予定時間過ぎてるぞ!

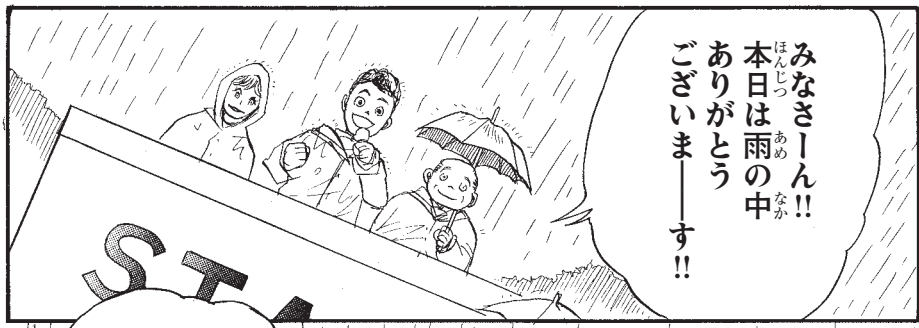
参加者たちがスタート地点に着いたそうです!!



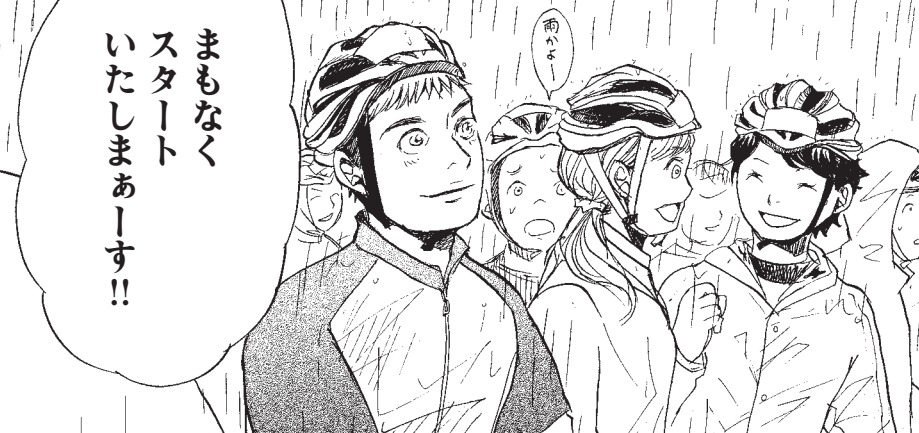
点検スタッフや設営物やスタッフ配置の最終確認を行った



そして最後に



みなさん!! 本日は雨の中ありがとうございます!!



まもなくスタートいたします!!



無事
スタート
しました!!

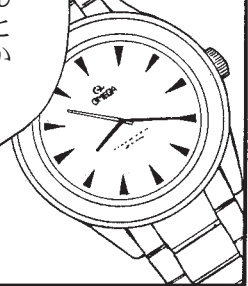
よかったあく

いやでも
まだ油断は
……



なんとか
スタートは
しましたが…

ゴク…



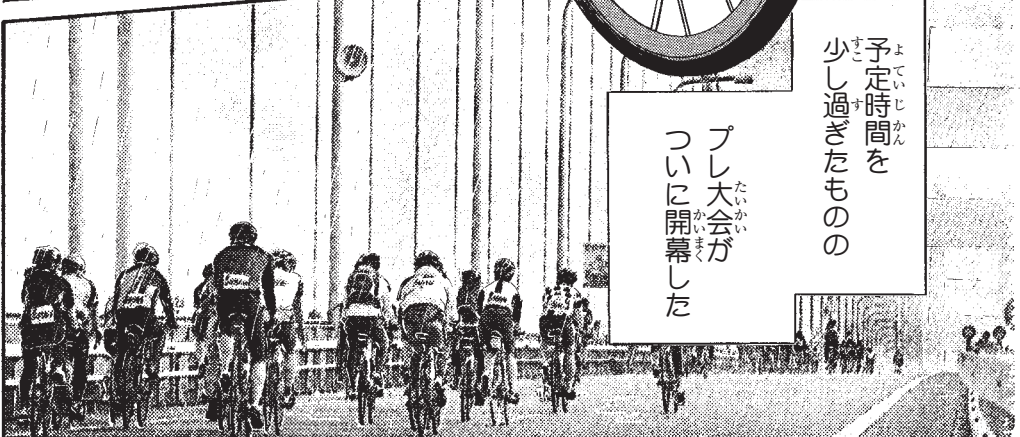
雨のせいもあり
予定時間より
20分遅れてしまった

最後の第6グループまで
スタートだけでも
25分かかってしまう
大仕事であったが…

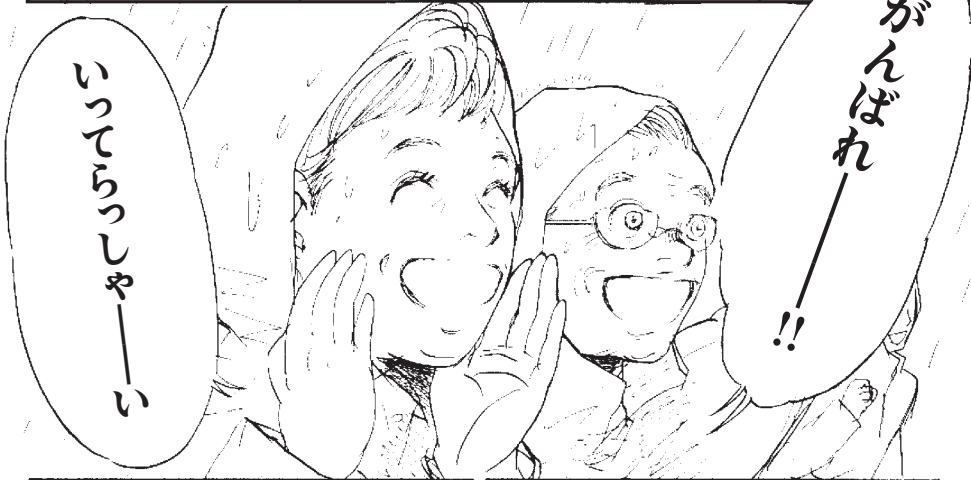
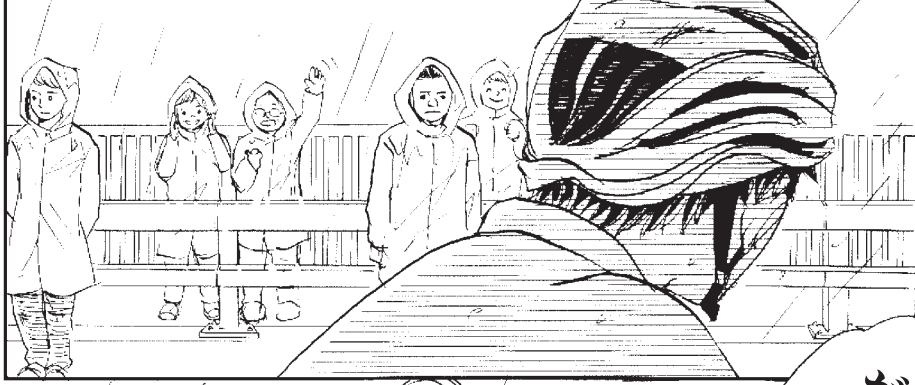
3千人の参加者は
5分ごとに
スタートさせる
こととしており



いっしょに
いっしょに

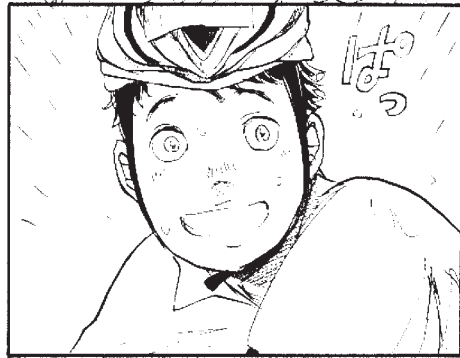
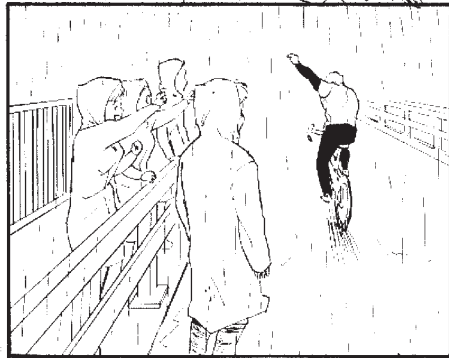


予定時間を
少し過ぎたものの
プレ大会が
ついに開幕した



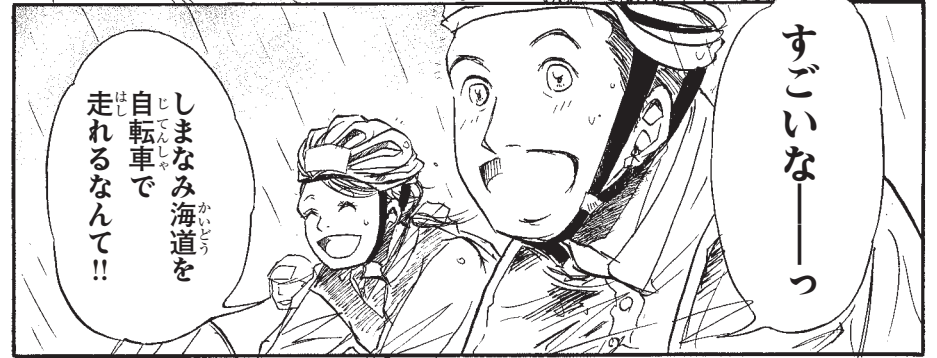
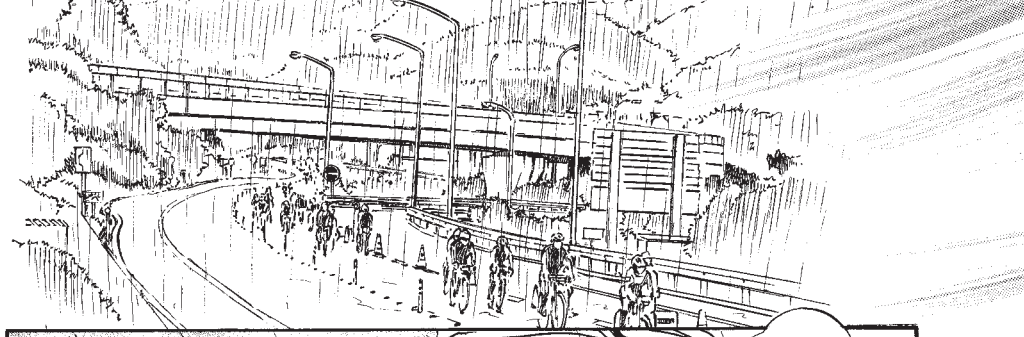
さっさとこえーっ

がんばれー!!



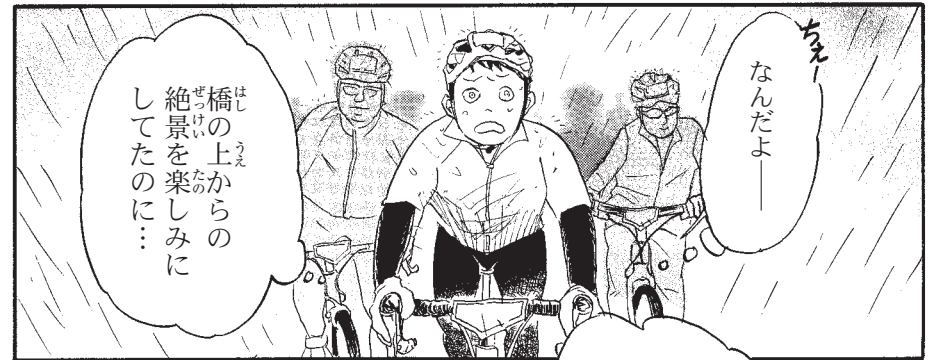
そっ...

3時間
は
与えられた



すごいな——っ

しまなみ海道を
自転車で
走れるなんて!!

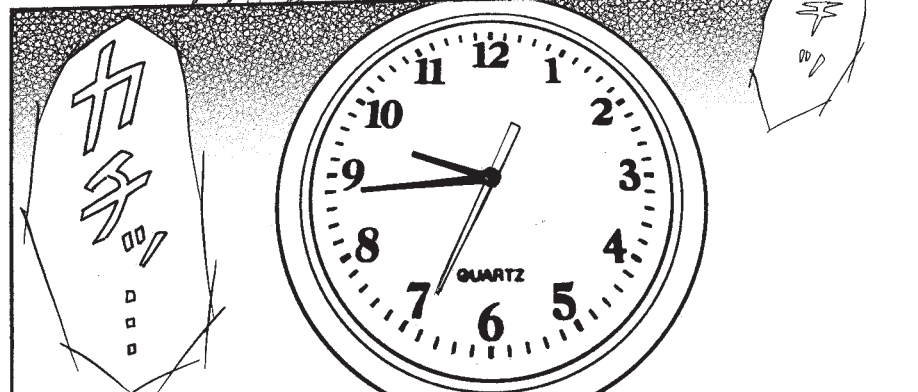
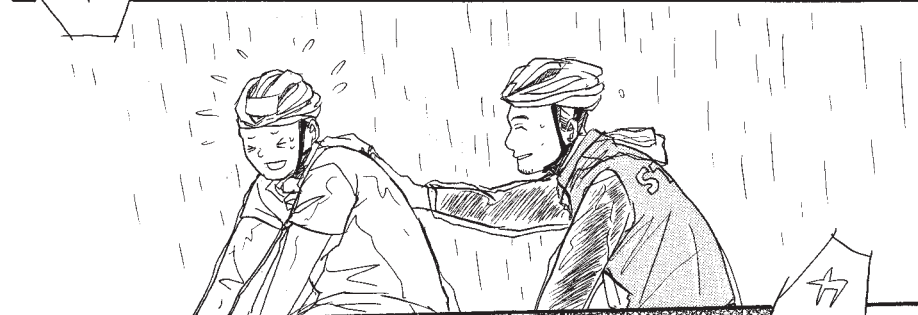
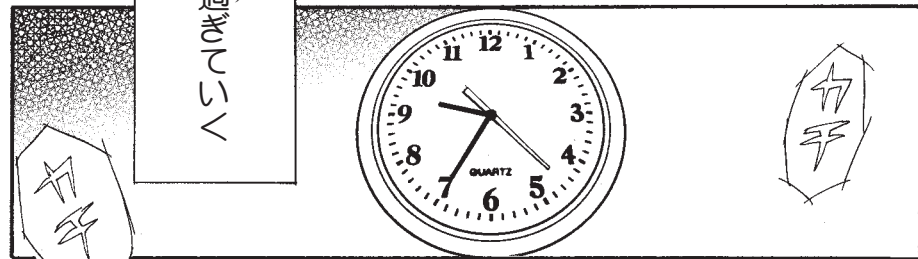
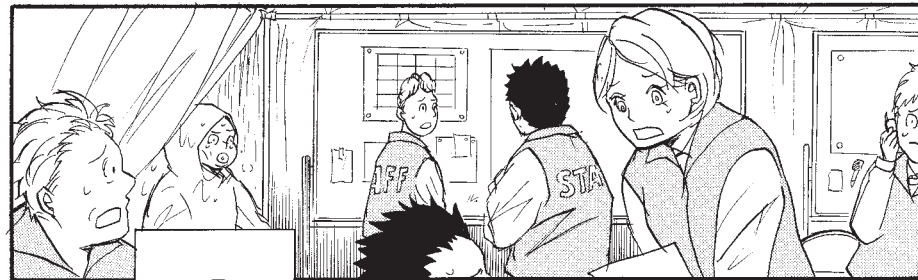
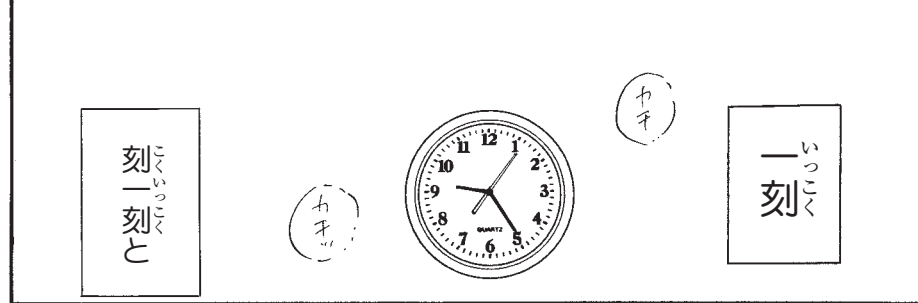
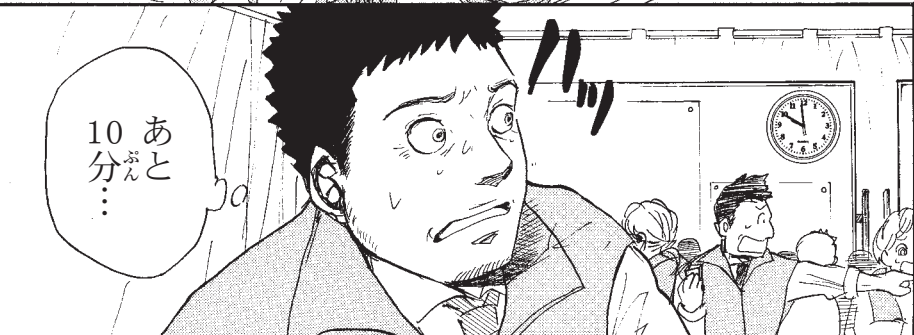
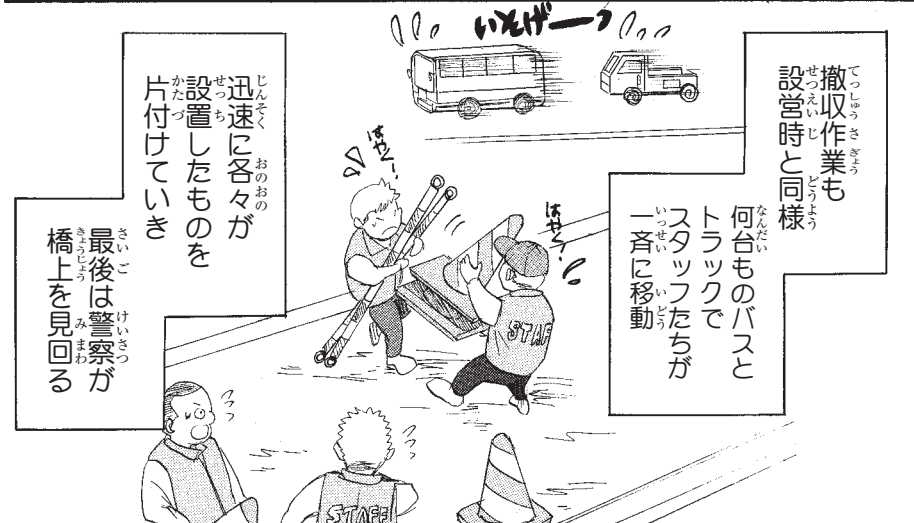
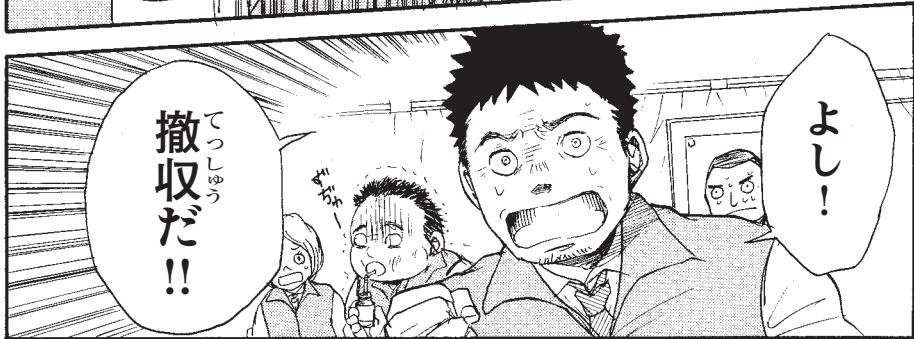
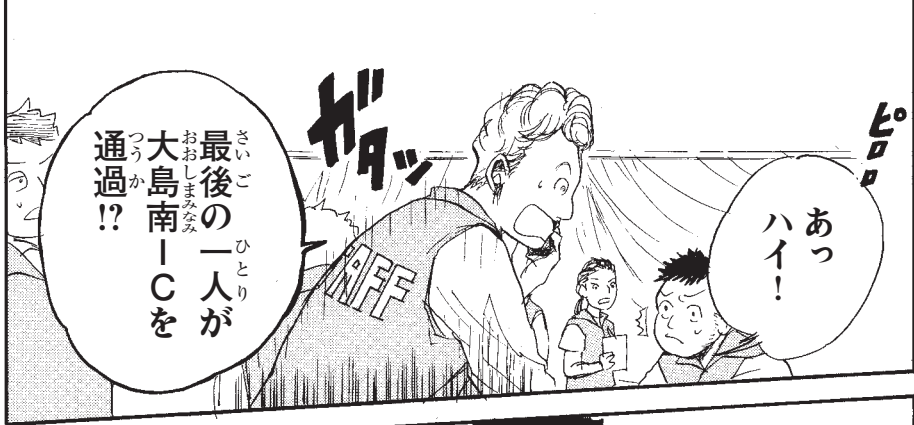


なんだよ

橋の上からの
絶景を楽しむに
してたのに...



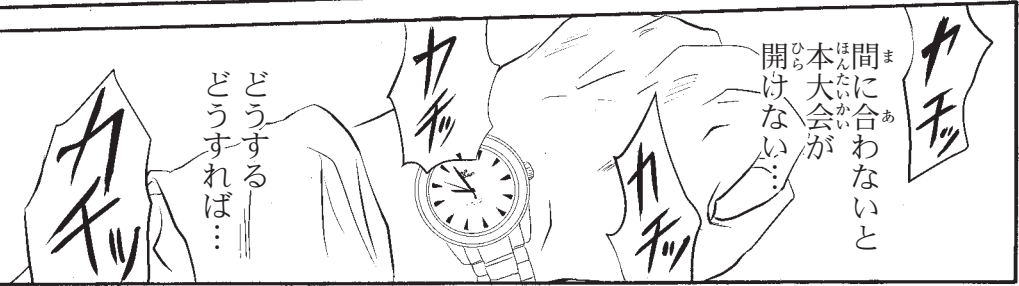
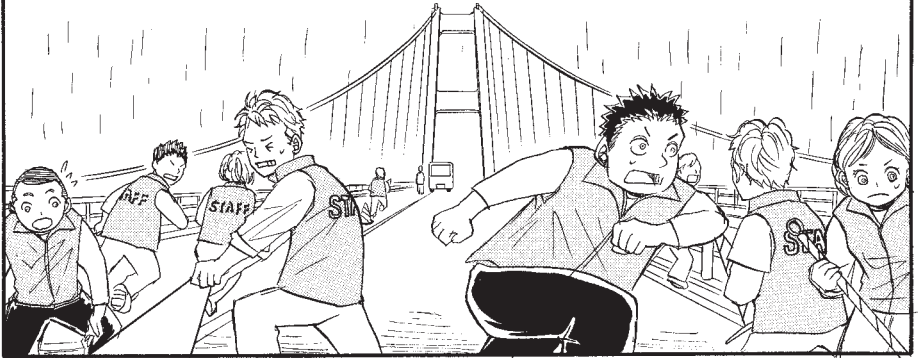
がんばれ——っ





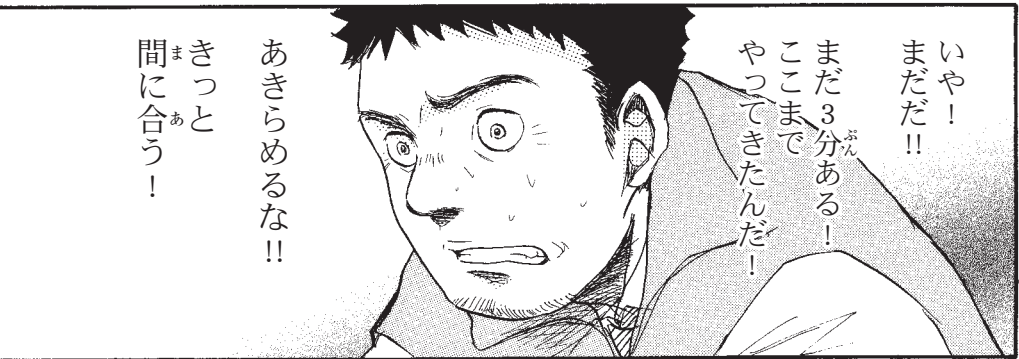
いかん…
こりやダメだ…

時間か…
もう…



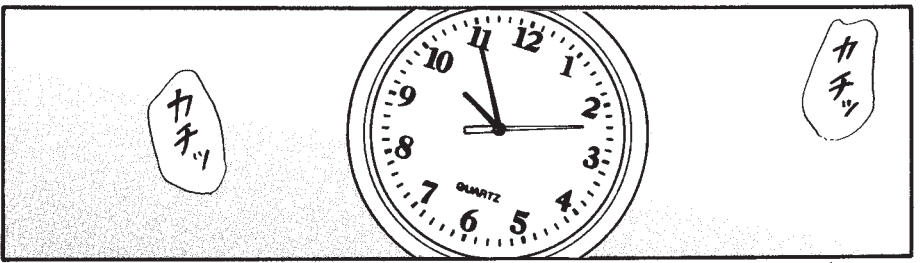
間に合わないよ
本大会が
開けない…

どうする
どうすれば…



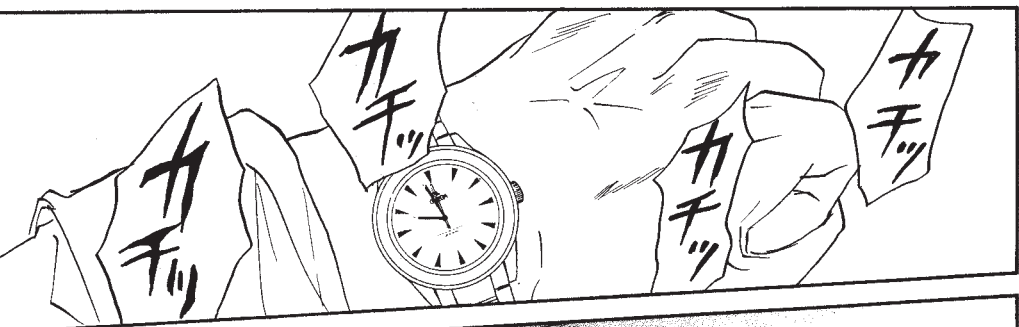
いや!
まだだ!!
まだ3分ある!
ここまで
やってきたんだ!

あきらめるな!!
きつと
間に合う!



カチッ

カチッ



最終見回りは
まだ終わらん
のか!?

まだですう!

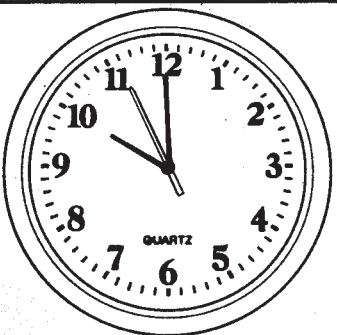
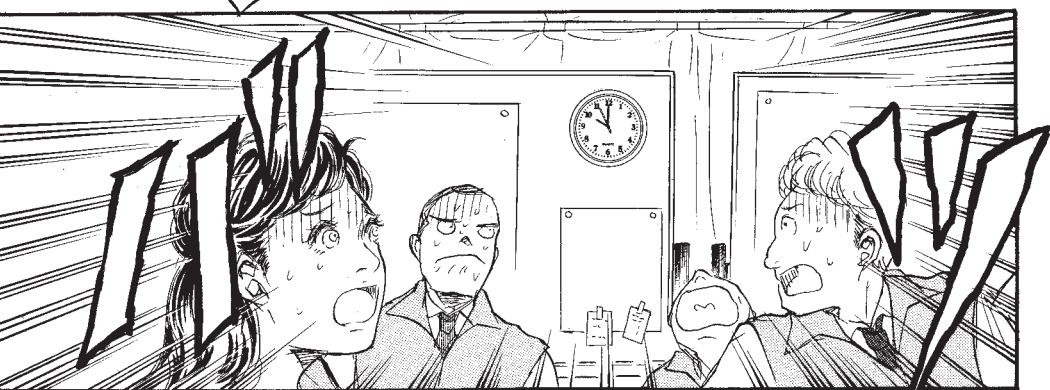
バスとトラックは
全部出たのか!?

あと
5分も
ないぞ!



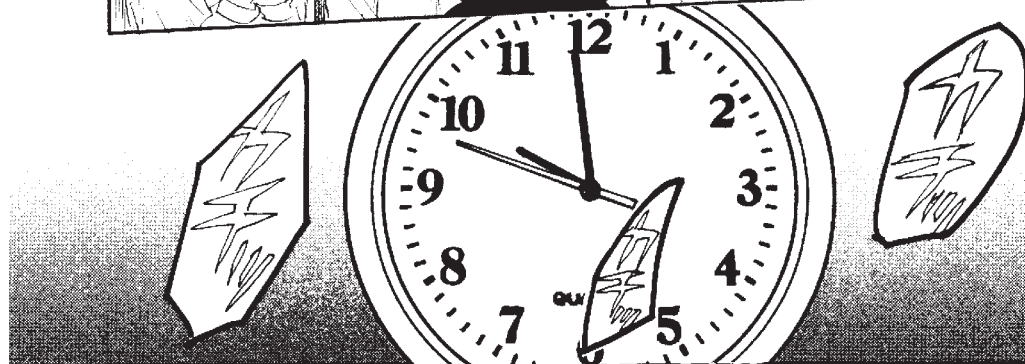
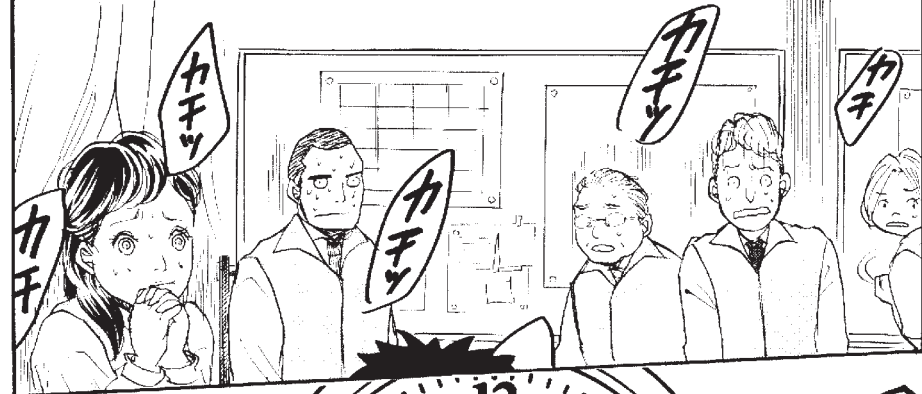
あ…
あと…

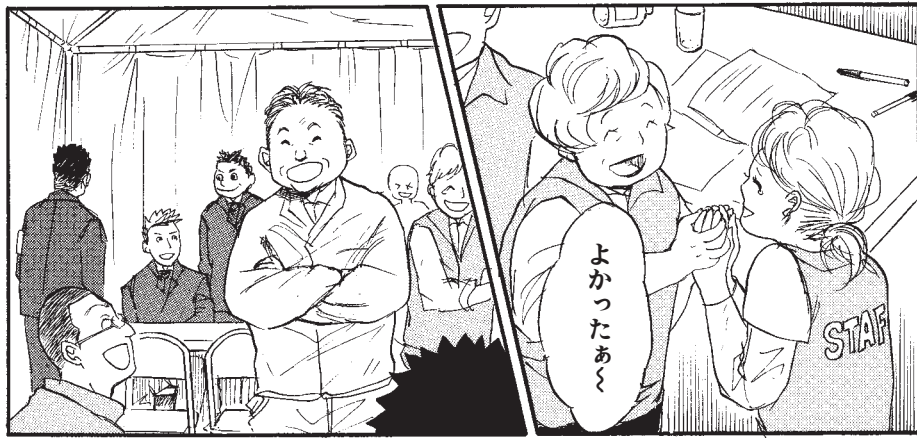
1分!!



カチッ

カチッ



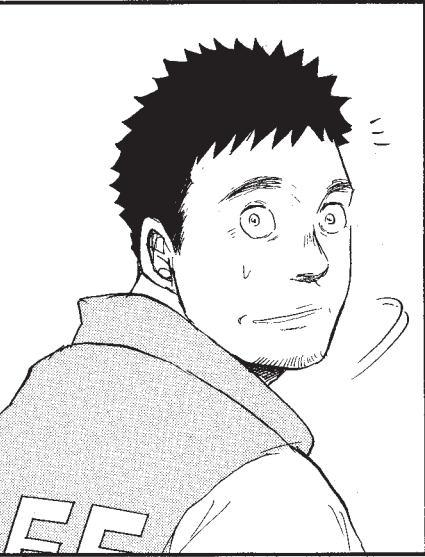


よかったあ〜

カア
カア
カア

はあ……

カア
カア
カア
カア
カア



金子さん
やりました
ねえ〜

僕もう
ダメかと思
いましたよあ〜



ってことは!!

大丈夫でしょ!!

イヤ

いいや!
ギリギリ……

やっぱ
ダメ!!

ギリギリ……
ダメ……!!!

4秒……前……



間に合った
——つつ!!!
4秒前……

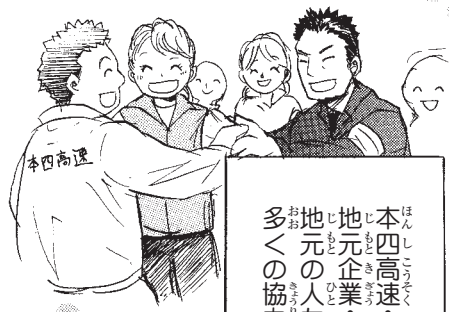


サイクリストたちは
次々と無事に
ゴールしていき…



フイニッシュ会場では
地元の人々による
『おもてなし』が
サイクリストの
疲れをいやした

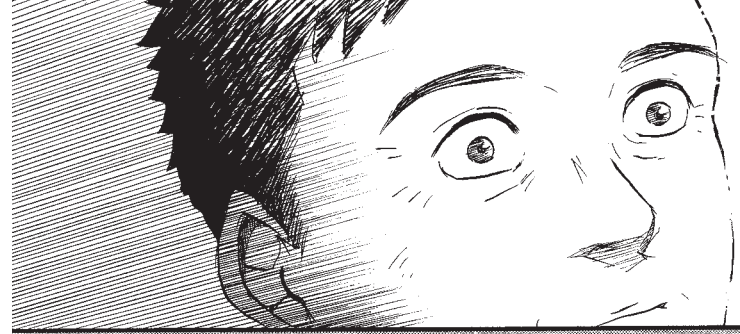
やっ暮したわ!!



特に大きな
事故やケガ人も
なく

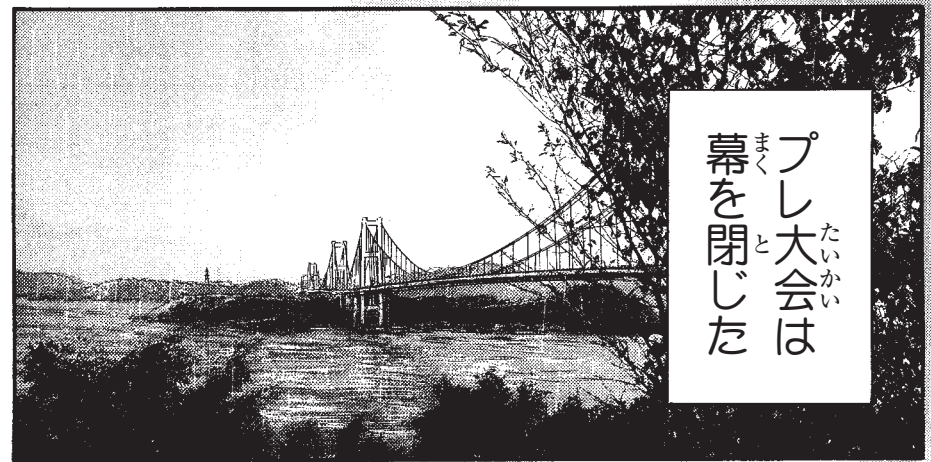
本四高速・警察・
地元企業・
地元の人たち…
多くの協力の下で

プレ大会を
終えることが
できた

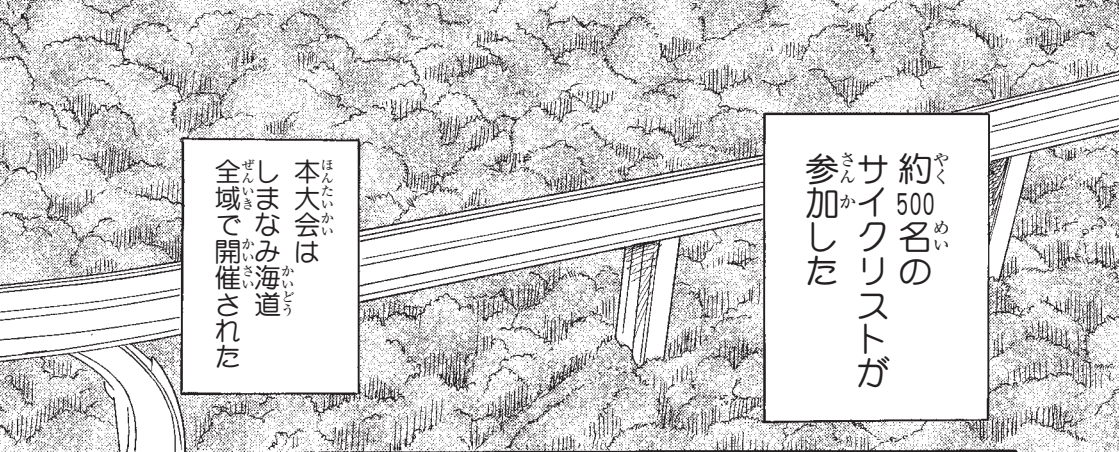


次は
ほんたにかい
本大会か…

——こらして

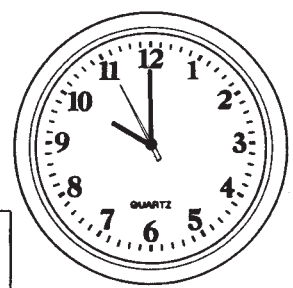


プレ大会は
幕を閉じた



本大会は
しまなみ海道
全域で開催された

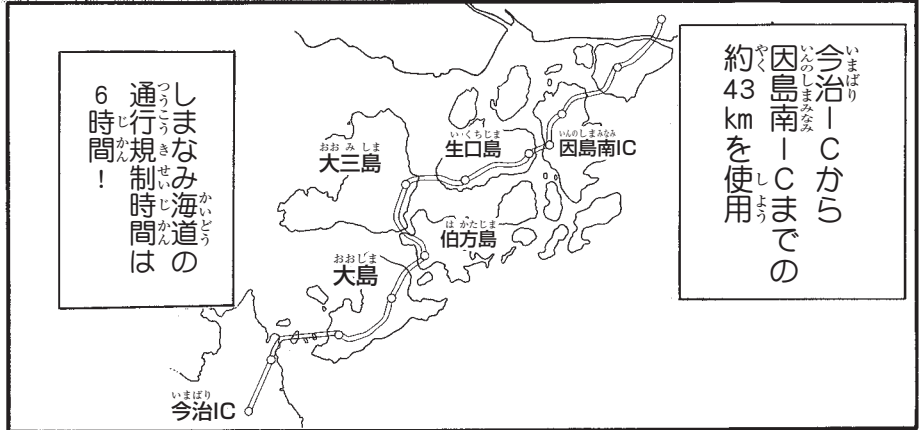
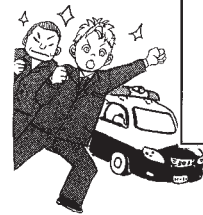
約500名の
サイクリストが
参加した



運営面では
多くの課題が
浮き彫りとな
ったが

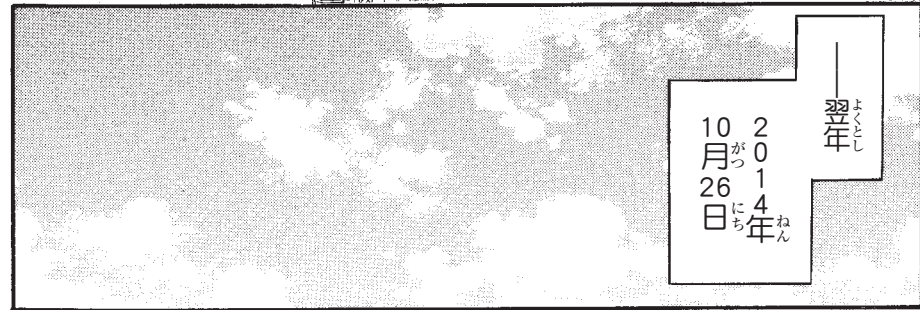


それは本大会に
活かされる
こととなる

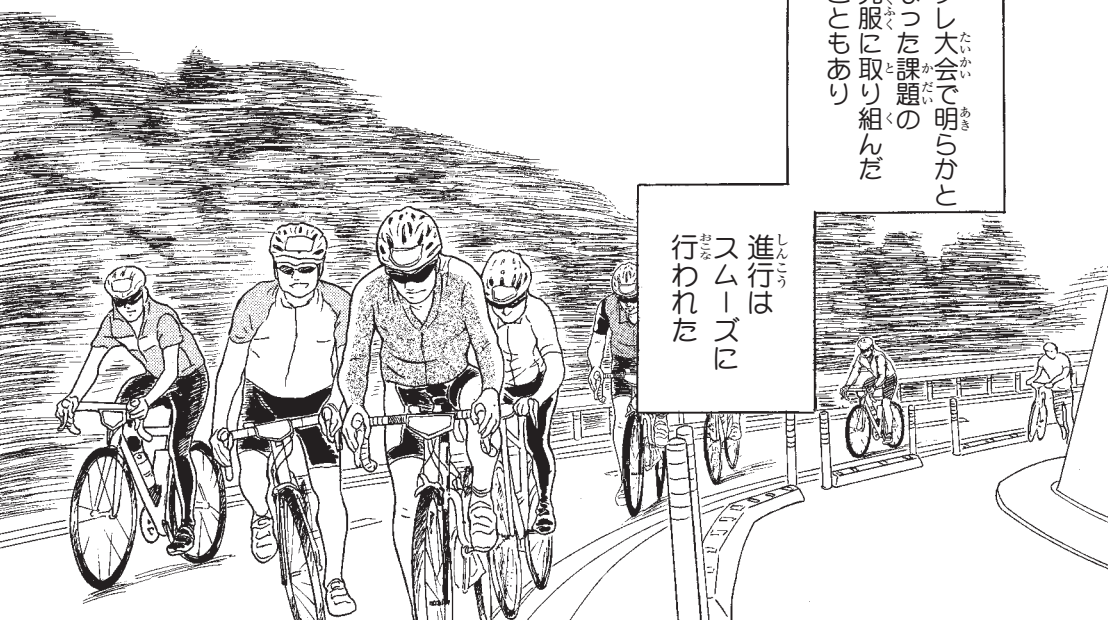


しまなみ海道の
通行規制時間は
6時間!

今治ICから
因島南ICまでの
約43kmを使用



翌年
2014年
10月26日



プレ大会で明らか
な課題の
克服に取り組んだ
こともあり

進行は
スムーズに
行われた



国内は
46都道府県

そして海外は
31の国と地域から

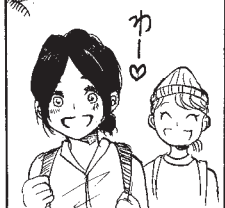
コースは
10コースあり

参加者は
なんと8千人!!

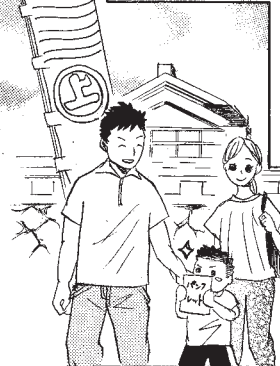


大会が
開催された
ことよって

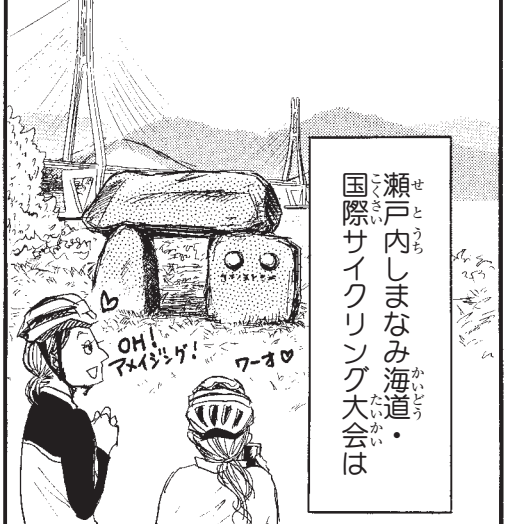
しまなみ海道に
観光にやってくる
人も増えた



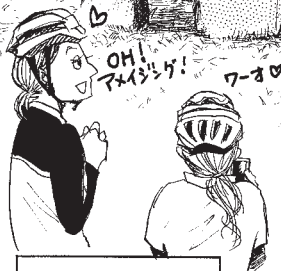
国内外からの
サイクリスト
だけでなく



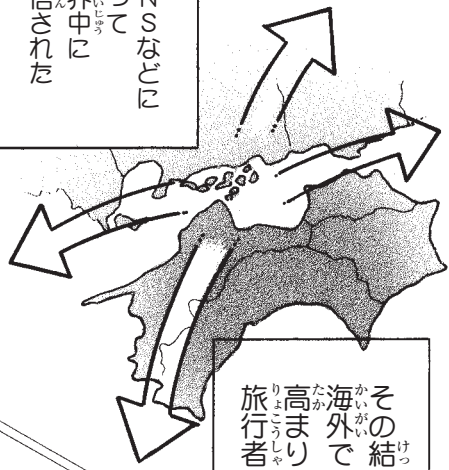
多くの人が
しまなみ海道に
やってくるように
なったのだ



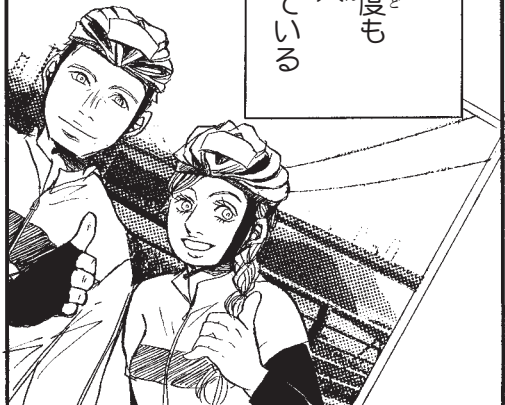
瀬戸内しまなみ海道・
国際サイクリング大会は



SNSなどで
よって
世界中に
発信された



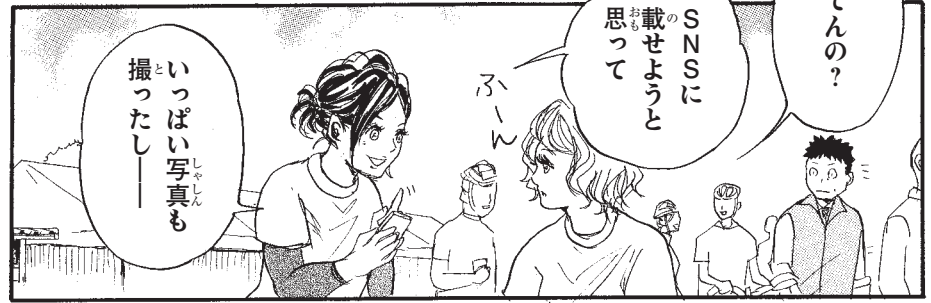
その結果
海外での知名度も
高まり 外国人
旅行者も増えている



お
すごい眺め
だなあ



何してるの？



SNSに
載せよう
と思って

いっぱい写真も
撮ったし

だってこんな
超楽しい大会
みんなに知って
もらいたいじゃん!!



2016年
10月30日

サイクリング
しまなみ
2016
なかまじり
大会当日

あつ!
金子さん!

手伝いに
来てくれて
たんですね

おう

様子は
どうかかと
思ってます

イベントも人気で
盛り上がって
ますよ

それに

いたるところで
聞こえて
くるんです

『ここが
サイクリストの
聖地か!』
って!!

天候にも
恵まれました
からね!

今回は
3500人
だつて!

抽選に
当たって
よかったね

ボランティアの
人たちも
元気がいいなあ

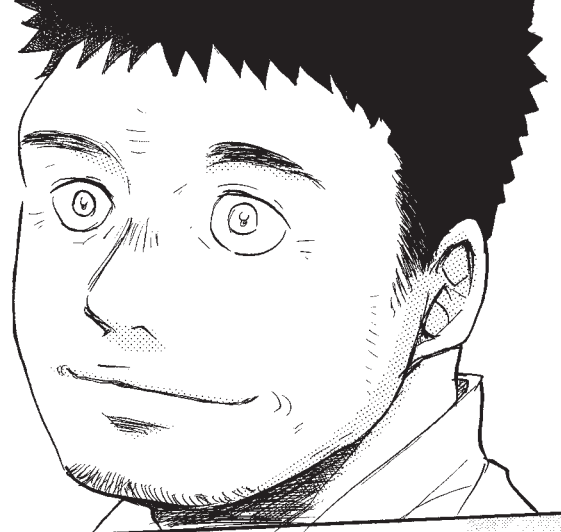


瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会

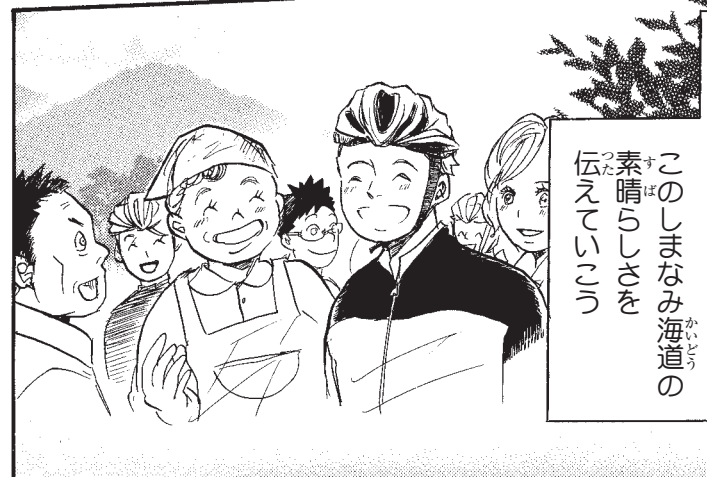
もっと知ろう



※本編の写真など画像・データ素材はすべて愛媛県より提供いただいております。
 ※掲載内容は、平成29年3月時点での情報を元に作成しています。



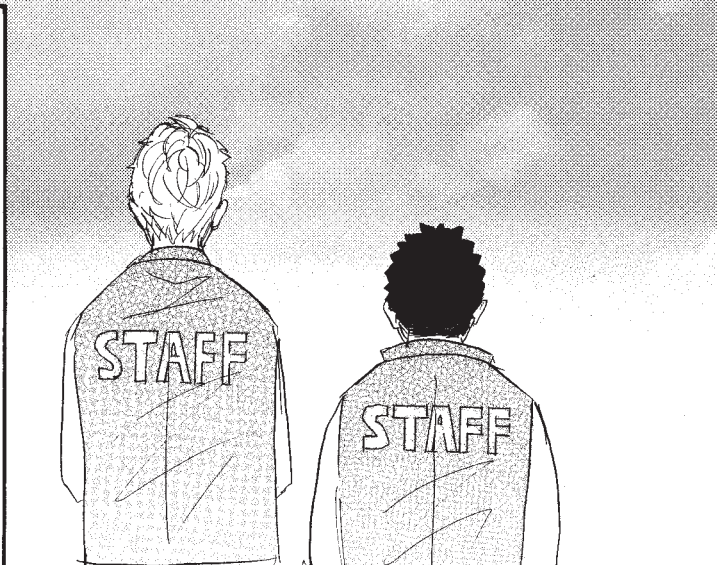
でもまだ
 始まった
 ばかり



もっと
 もっと
 多くの人に

このしまなみ海道の
 素晴らしさを
 伝えていこう

次は2018年
 再び大きな
 大会をめざす



1 大会の魅力

瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会は、愛媛県今治市と広島県尾道市を結び、「瀬戸内しまなみ海道」及びその沿線地域を舞台に、瀬戸内しまなみ海道の一部を交通規制し、国内で唯一、高速道路本線に、自転車で走行できるとともに、初心者から上級者まで楽しめる多彩なコースが設定されています。



エイドステーションでおもてなし

大会参加者は、瀬戸内の美しい島々と海、様々な形状の架橋が織り成す絶景、豊かな自然に育まれたおいしい食べ物、島に暮らす人々の温かい「おもてなし」といった瀬戸内しまなみ海道の様々な魅力を満喫することができます。

2 大会の目的

大会開催を通じて、世界中に「サイクリストの聖地」瀬戸内しまなみ海道を広く発信することにより、瀬戸内しまなみ海道をはじめ、愛媛県への観光誘客と地域活性化に繋げることを目的としています。

3 開催に至る経緯

この大会は、中村時広愛媛県知事が二〇一〇年（平成二二年）の選挙公約に「瀬戸内しまなみ海道を世界に情報発信する」と掲げたことがきっかけとなって始まりました。

世界に情報を発信する具体的な手段として、本州と四国を結ぶ三ルートの中で唯一自転車歩行者道を備える瀬戸内しまなみ海道の特長を最大限に活かすべく、エコツーリズムや健康志向の高まりを背景に人気が高まりつつあった「サイクリング」を観光・地域活性化の起爆剤として各種施策を進めていくこととなりました。

4 大会の歴史

①プレ大会「サイクリングしまなみ二〇一三」の開催

瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会を開催するに当たり、国内最大級の国際サイクリング大会として成功するためには十分な事前検証が必要であるとして、まずは愛媛県側の瀬戸内しまなみ海道を舞台に、二〇一三年（平成二五年）一〇月二〇日（日）にプレ大会「サイクリングしまなみ二〇一三」を開催するにとしました。

しかし、供用中の高速道路を交通規制して開催するサイクリング大会は国内では前例がなく、道路管理者や交通管理者との協議は当初想定していた以上に難航しました。

開催日まであと三カ月と迫った中での参加者募集でしたが、開始日から五日間で三〇〇〇名の定員が埋まり、また、県外からのエントリーが半数を占めるなど、「瀬戸内しまなみ海道」のブランド力や「高速道路を利用したサイクリングイベント」への注目度の高さを



プレ大会「サイクリングしまなみ2013」

感じさせる結果となりました。開催当日は、あいにくの雨天でしたが、国内外から約二六〇〇名のサイクリストが参加し、刻々と変化する瀬戸内しまなみ海道の絶景を楽しむとともに、エイドステーション等では愛媛の「おもてなし」に触れていただくことができました。

プレ大会の概要

○開催時期：二〇一三年（平成二五年）一〇月二〇日（日）

○開催エリア：しまなみ海道及びその周辺地域（愛媛県側のみ）

※高速道路本線は今治IC〜大島南ICまでを使用
○参加者：二五六〇名（定員三〇〇〇名）

○コース：三コース（四〇km〜一一〇km）

②瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」の開催

プレ大会で得た反省点・改善点を踏まえ、二〇一四年（平成二六年）一〇月二六日（日）に、「サイクリングしまなみ」を盛大に開催しました。大会当日は、天候に恵まれ、国内は四六都道府県から、海外はアジアを中心にして三一の国・地域から、日本最大級の規模となる七二八一名の方々に参加いただきました。

地元企業・団体や住民の方々によるボランティアなど総勢四六〇〇名を超えるスタッフの力の結集により、大きなトラブルもなく大会は終了しました。参

○参加者：七二八一名（定員八〇〇〇名）

○コース：一〇コース（八km〜一〇〇km）

③瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ二〇一六」の開催

「サイクリングしまなみ二〇一六」は、二年前の前回大会で得られた国内外へのPR効果を維持・発展させ、「サイクリストの聖地」としてのしまなみ海道の地位を確立するとともに、愛媛県の自転車新文化を象徴するイベントとして定着させることを目指して、二〇一六年（平成二八年）一〇月三〇日（日）に開催しました。

大会当日は、天候に恵まれ、国内は四七都道府県すべてから、海外は台湾、香港、韓国などアジアを中心に九の国と地域から、総勢三五三九名の方々に参加いただきました。しまなみ海道の絶景はもちろん、沿線各地で地域住民の方々の応援やおもてなしを満喫いただき、「サイクリストの聖地」しまなみ海道を広く国内外に発信することができ、しまなみ海道サイクリングのさらなるファン獲得に繋がる素晴らしい大会となりました。

加者からは、「景観はもとより、沿道からの応援やエイドステーションでのおもてなしが素晴らしかった」「今後も続けて開催してほしい」との評価を多くいただき、大会は成功裡に終了しました。

大会の概要

○開催時期：二〇一四年（平成二六年）一〇月二六日（日）

○開催エリア：しまなみ海道及びその周辺地域（愛媛県・広島両県）

※高速道路本線は今治IC〜因島南ICまでを使用



サイクリングしまなみ

大会の概要

○開催時期：二〇一六年（平成二八年）一〇月三〇日（日）

○開催エリア：しまなみ海道及びその周辺地域（愛媛県・広島両県）

※高速道路本線は今治IC〜生口島南ICまでを使用
○参加者：三五三九名（定員三五〇〇名）

○コース：五コース（四〇km〜一五〇km）



サイクリングしまなみ2016



沿道で応援する人々

④「サイクリングしまなみ二〇一八（仮称）」を開催（予定）

平成三〇年に開催予定のサイクリングしまなみ二〇一八（仮称）は、再び大規模な大会となる見通しで、現在、その開催準備が進められています。大会を世界中から注目される一大イベントへと磨き上げ、「サイクリングパラダイス愛媛」の魅力を国内外に広く発信し、サイクリングを核とする一層の観光振興と地域経済の活性化に結び付けることを構想しています。

5 瀬戸内しまなみ海道のPR効果

これまでの大会開催により、瀬戸内しまなみ海道の圧倒的な魅力に加え、高速道路本線を走行できるプレミアム感、そして沿線の地元住民による温かいおもてなしが、国内外の参加者の方々の心をとらえ、大変ご好評をいただいたおかげで、そのような高い評価が口コミやSNS等によって拡散し、今日では、日常的に

国内外から多くの自転車愛好家たちが訪れる「サイクリストの聖地」としてしまなみ海道が認識されるとともに、対外的にも次のような評価をいただくようになるなど、大会開催を通じた瀬戸内しまなみ海道のPR効果が表れてきています。

①CNNテレビで世界七大サイクリングルートの一つに選定（二〇一四・五）

アメリカCNNテレビの旅行情報サイトで「世界で最もすばらしい七つの自転車道」の一つとして紹介されました。

②ロンリープラネットのガイドブックで世界五〇選の一つに選定（二〇一六・二〇）

世界的に有名なオーストラリアの旅行ガイドブックの会社、ロンリープラネットの「世界の魅力的なサイクリングルート五〇選」のガイドブックに、ルートとして日本唯一瀬戸内しまなみ海道が掲載されました。

③トリップアドバイザーでの紹介（二〇一六・三）

④楽天トラベルランキングで一位（二〇一六・四）

旅行者の口コミを元に集計・発表されたトリップアドバイザーの「行ってよかった！日本の展望スポットランキング二〇一六」において、瀬戸内しまなみ海道の展望名所「亀老山展望公園」が三位にランクインしました。（二位は清水寺）

旅行予約サイト「楽天トラベル」がサイクリストに人気の旅行先ランキングを発表し、「今治・瀬戸内しまなみ海道」が一位にランキングされました。

6 自転車新文化推進のための主な施策

愛媛県では、国際サイクリング大会の開催のみならず、サイクリングに関する施策に積極的に取り組んでおり、「自転車新文化」の理念のもと、①自転車県としてのブランド化、②おもてなし態勢の整備、③自転車利用の普及・拡大、④自転車の安全利用の四つの柱を軸に各種政策を進めています。

1 ラグビー合宿の聖地へ 北のスポーツ基地網走 **北海道網走市**
 ソウル五輪の事前合宿をきっかけに、ラグビーを中心にスポーツ合宿で地域活性化することを決めた網走市。合宿の受入れ要請やグラウンド整備に職員は奔走する。今では合宿の聖地となり、グラウンドは“日本一の芝”と言われるまでになったその理由とは…

2 日本初のバレーボール専用体育館・オガールベース スポーツを通じて次世代のリーダーを育てる **岩手県紫波町**
 公民連携で駅前の遊休地が生まれ変わった。マルシモ、図書館、医院、学習塾、スポーツ施設などが集積。人口3万人の町に今、年間90万人が訪れる。「バレーボール専用体育館」を建てた狙いと、そこに込められた想いとは…

3 バスケットで秋田を元気に ゼロからの挑戦 **秋田県**
 大学進学で秋田に来た水野は県民のネガティブ思考に愕然（がくぜん）とする。そんな秋田を“スポーツで元気に”とプロバスケットチームの設立に向けて水野は走り始める。否定的な意見もある中、「動けば変わる！」と仲間と活動を続ける水野。果たして秋田の未来は…

4 世界が注目するアウトドア天国・みなかみ **群馬県みなかみ町**
 バブル崩壊で温泉客・スキー客が減少。観光の町・みなかみの経済は活気を失う。そんな中、利根川源流の自然環境の価値に一人のNZ人が気付く。「ここは世界に通じるアウトドア天国になる!」。彼の狙いどおり外国人客は来るのか…

5 市民が主役の交流拠点・アオーレ長岡 アリーナを含む公民一体型スペース **新潟県長岡市**
 長岡市の活性化のため誕生した新交流拠点「アオーレ長岡」。スポーツやコンサート、市民発のイベントが多数行われ、運営を担うなおか未来創造ネットワークは「市民のやりたいこと」の実現のため奔走していた。そんな中、アリーナが新潟アルビレックスBBの本拠地に決まり…

6 サッカーで地域を盛り上げる 松本山雅FCの歩み **長野県松本市**
 平均13000人を超えるJ2では驚異的な入場者数を誇る松本山雅FC。老いも若きもスタジアムに集い、スタンドが緑に染まる。“サッカー不毛の地”長野県の一地方都市で、なぜこのような奇跡が起こったのか。そこには男たちの熱いドラマがあった。

7 マリンスポーツでまちおこし 自然を活かしたスポーツ集客 **三重県熊野市**
 新たな観光誘客のため、熊野マリンスポーツ推進委員会が穏やかな新鹿湾や熊野灘の絶景を活かし、SUPやシーカヤックを楽しむまちづくりに挑戦！熱意と地域愛を武器に、各所への協力要請、天候との闘いを経て、ついにビーチ・マリンスポーツフェスティバルが開催となるが…

8 「自立と連携」スポーツを核に地域に雇用を生む 出雲スポーツ振興21 **島根県出雲市**
 スポーツを振興し、地域スポーツを支える組織をめざして2000年より活動開始。でもスポーツだけではなく、大事なものは「地域づくり」!。「自立と連携」をキーワードに、地域を元気にする事業を幅広く展開。スポーツを核に20人もの正職員を雇用するNPOに。

9 瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会 瀬戸内しまなみ海道をサイクリストの聖地へ **愛媛県**
 「しまなみ海道で国際サイクリング大会をやる!」「高速道路を通行止めにして…」前例のないイベント開催を命じられた県庁職員の奮闘が始まる。国内外から多くの観光客・サイクリストが訪れる契機となったサイクリング大会の経緯を描く。

10 Japan Open 飯塚国際車いすテニス大会 アジア最高峰の国際車いすテニス大会の始まり **福岡県飯塚市**
 車いす使用者がスポーツを行うことに、まだまだ理解が得られなかった1980年代。そんな風潮に敢然と立ち向かった男たちがいた。彼らが社会復帰のリハビリのために採り入れた車いすテニスは、やがて車いすテニス世界6大会の一つ、Japan Openへと発展していく。

11 スポーツコミッションで合宿誘致 **佐賀県**
 「スポーツコミッションを立ち上げる!」。知事から新たな指令が下った。フィルムコミッションからの異動を命じられた県庁職員。知名度の低い佐賀にスポーツ合宿を誘致する…。新たなミッションに、彼は応えることができるのか。

12 大分国際車いすマラソン大会 世界最高峰の車いすマラソン大会 **大分県**
 「別大マラソンに参加したい」。車いす使用者の訴えは聞き入れられなかった。ならば…。「世界初の車いす単独マラソン大会」の実現を目指して一人の医師が立ち上がった。彼の熱い思いはやがて世界最高峰の車いすマラソン大会へとつながっていく。

① 自転車県としてのブランド化
 愛媛県をサイクリストにとつて特別な場所にするため、「サイクリストの聖地」瀬戸内しまなみ海道での国際サイクリング大会の定期開催や、四国一周サイクリングルートの作成、瀬戸内しまなみ海道の自転車通行無料化などを進めています。

② おもてなし態勢の整備
 国内外から観光客を誘客し交流人口を拡大するため、愛媛マルゴト自転車道の展開、サイクルレスキュー、サイクルオアシス（休憩施設）、乗り捨て可能なレンタサイクル、サイクルトレイン・サイクルパス等の二次交通の整備、サイクリングガイド等の人材養成、Wi-Fiの整備などを行っています。

③ 自転車利用の普及・拡大
 「県民みんなが作り・育てるサイクリングパラダイス」を理念として、「愛媛サイクリングの日」の創設、女性・シニア・ファミリー層への普及啓発活動、県内での自転車競技の開催による魅力発信などを行っています。

④ 自転車の安全利用
 誰もが安心・安全に自転車を利用できるように、歩行者・自転車・自動車等がお互いの立場を思いやり、道路を共有する「シェア・ザ・ロード」の精神の啓発・拡大を行っています。また、自転車安全利用セミナーの開催、ヘルメットの着用推進、スポーツサイクリングの取扱いに習熟した人材の育成等にも取り組んでいます。

愛媛県では二〇一四年（平成二六年）に「サイクリングパラダイスえひめ推進会議」を、二〇一六年（平成二八年）三月に「愛媛県自転車新文化推進協会」を設立し、上記の自転車関連施策を、県下市町、民間企業・団体等の協力を得て着実に進めています。

ほんさつし せいさくきょうりよく 本冊子の制作協力にあたって

日本生命は、「スポーツの力で地域を元気にしたい!」という
スポーツ庁の思いに共感し、この『スポーツによる地域活性化ま
んが事例集』の制作に協力しました。

毎日の部活を頑張るあなたも、同級生の活躍を願うあなたも、
地元のクラブチームを支えるサポーターやスタッフも、みんな
知っているはず。

スポーツをする人、応援する人、支える人の思いが繋がって、
みんなが心を躍らせる瞬間が湧き起こることを。

このまんがを読まれた方々が、スポーツの力をかりて地域を支
えようと頑張る人たちの思いに共感し、あなたの、そして地域の
未来を切り拓いていくきっかけとなれば幸いです。

日本生命は、生命保険会社で唯一の「東京2020 オリンピッ
ク・パラリンピックゴールドパートナー(生命保険)」として、
『Play,Support. ～さあ、支えることを始めよう。～』をスロー
ガンにスポーツを頑張るすべての人と、それを支えるすべての人
を応援しています。



TOKYO 2020
OLYMPIC GAMES



NISSAY



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京2020 ゴールドパートナー(生命保険)



生 28-H-3897, 業務部

●作画

二宮法子

●作画協力

三宅真里菜、北添久美子、亀井伶奈、中川優司

●作画指導

大野志信

専門学校 松山ビジネスカレッジ クリエイティブ校

総合デザイン学科

〒790-0001 松山市一番町 1-4-1

TEL.089-931-1420

<http://www.mbc1946.ac.jp>

●取材協力

金子浩一、後藤保司、高瀬浩二、松本晃典(愛媛県庁)

●制作協力

スズキ株式会社 日本生命保険相互会社



●編集協力

大日本印刷株式会社 株式会社ダーコシ

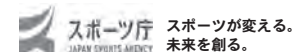
●表紙デザイン

hive

まんが スポーツで地域活性化 vol.9

瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会 瀬戸内しまなみ海道をサイクリストの聖地へ (愛媛県)

企画・監修



参事官(地域振興担当) 付

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

TEL. 03-5253-4111 (代表)

<http://www.mext.go.jp/sports/>

寄贈元 スズキ株式会社 日本生命保険相互会社

印刷 大日本印刷株式会社

「しまなみ海道で国際サイクリング大会をやる！」

「高速道路を通行止めにして…」

前例のないイベント開催を命じられた

県庁職員の奮闘が始まる。

国内外から多くの観光客・サイクリストが

訪れる契機となったサイクリング大会の経緯を描く。